令和８年度　大町消防署　訓練塔塗装等　修繕工事

伝刀建築構造事務所

令和８年度大町消防署訓練塔塗装等修繕工事

Ⅰ　工事概要

１．工事場所　　長野県大町市大町１５４７－３

２．敷地面積（㎡）　　１,726.05 ㎡

３．工事種目

建　物　別	種　別	構　造	階　数	梁間（ｍ）	桁行（ｍ）	建築面積（㎡）	延面積（㎡）
訓練塔	修繕	鉄骨造	6階	4.80	5.50	40.65	221.61

Ⅱ　建築工事仕様（構造関係を除く）

１．共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「標仕」という。）による。

（２）標準仕様書で、「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。

（３）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

２．特記仕様

（１）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と⊛印の付いた場合は、共に適用する。

（３）特記事項に記載の（　.　.　）内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（４）特記事項に記載の（別　.　.　）は（５．３．７）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

（５）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。

章　｜　項　目　｜　特　記　事　項

1　一般共通事項

①．適用基準等

⊙ 建築工事標準詳細図	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和7年版）
・ 敷地調査共通仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和7年版）
⊙ 建築鉄骨設計基準	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和10年版）
⊙ 工事写真の撮り方（改訂第三版）建築編	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙ 長野県建築工事の手引	長野県建設部施設課監修
・ 住宅瑕疵担保責任保険　設計施工基準	
・ 木造建築工事標準仕様書	国土交通省大臣官房営繕部監修（令和5年版）
⊙ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）	建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
⊙ 長野県建設リサイクル推進指針	
・ 木造住宅工事仕様書（フラット35対応）	住宅金融支援機構（平成２４年版）

２．工事実績情報の登録
※ 適用する　　・ 適用しない　（1.1.4）

３．品質計画
建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による　（1.2.2）
　※ 風速（Vo＝ 30 ）
　※ 地表面粗度区分（ ・ Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ ・ Ⅳ）
　※ 積雪区分　建告示第１４５５号　別表（　）・ １５０以上２００未満
　品確法　・劣化対策等級2　維持管理法対等等級2　高齢者等配慮対策等級3　省エネルギー対策等級4

４．電気保安技術者
・ 適用する　　・ 適用しない　　（一部非該当有）　（1.3.3）

５．施工条件明示項目
（1.3.5）

⑥．発生材の処理等
・ 別紙解体工事仕様書による　⊙ 構外搬出適正処理　・ 現場説明書による　（1.3.8）
また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。

・ 引渡しを要するもの	なし
・ 再生資源の利用を図るもの	梱包ダンボール等

⑦．環境への配慮
化学物質を放散させる建築材料等　（1.4.1）

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）から（５）を満たすものとする。

（１）合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
（２）保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
（３）接着剤はﾌﾀﾙ酸ｼﾞｰﾝｰﾌﾞﾁﾙ及びﾌﾀﾙ酸ｼﾞ－２－ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
（４）塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
（５）上記（１）、（３）及び（４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

規 制 対 象 外
　①ＪＩＳ及びＪＡＳの　Ｆ☆☆☆☆規格品
　②建築基準法施行令第２０条の7第4項による国土交通大臣認定品
　③下記表示のあるＪＡＳ規格品
　　a．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤使用
　　b．接着剤等不使用
　　c．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない材料使用
　　d．ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用
　　e．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料使用
　　f．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用
第 三 種
　①ＪＩＳ及びＪＡＳの　Ｆ☆☆☆規格品
　②建築基準法施行令第２０条の7第3項による国土交通大臣認定品
　③旧ＪＩＳのＥｏ規格品
　④旧ＪＡＳのＦｃｏ規格品

⑧．建築材料等
建築材料等　（1.4.2）

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。なお、ＪＩＳ及びＪＡＳの表示のない材料及び製造業者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとする。
　（１）品質及び性能に関する試験ﾃﾞｰﾀが整備されていること
　（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
　（３）安定的な供給が可能であること
　（４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
　（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
　（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること

これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。

なお、（社）公共建築協会で発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記（１）～（６）に該当するものとする。

また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。

⑨．特別な材料の工法
標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品所の指定する工法による。

１０．技　能　士
※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。）　（1.5.2）
・ 適用しない

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	・ とび作業
鉄筋工事	・ 鉄筋組立作業
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	・ 型枠施工　・ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	・ 構造物鉄工作業　・ とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ･押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	・ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・ 合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業 ・ ＦＲＰ防水工事作業
石工事	・ 石張り作業
タイル工事	・ ﾀｲﾙ張り作業
木工事	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	・ 内外装板金作業　・ かわらぶき　・ ｽﾚｰﾄ工事作業
金属工事	・ 鋼製下地工事作業　・ 内外装板金作業
左官工事	・ 左官作業
建具工事	・ 建具製作　・ ｻｯｼ施工作業　・ ｶﾞﾗｽ工事作業　・ 自動ﾄﾞｱ施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・ 金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業　・ ｻｯｼ施工作業　・ ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	・ 建築塗装作業
内装工事	・ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業 ・ ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業　・ 壁装作業
排水工事	・ 建築配管作業
舗装工事	・ 溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業　・ 加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	・ 造園
その他	・ 畳製作　・ 家具製作　・ 樹脂接着剤注入施工

１１．化学物質の濃度測定
測定方法　※ ﾊﾟｯｼﾌﾞ法（拡散法）　・ ｱｸﾃｨﾌﾞ法（吸引法）　（1.5.9）
　検査機関
　※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者
測定物質
　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　※ ﾄﾙｴﾝ　※ ｷｼﾚﾝ　※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ ・ｽﾁﾚﾝ
測定個所（室）
　計　　個所
　※ 試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。
化学物質の室内汚染濃度指針値

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	備　考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

⑫．完成図等
※ 作成する　（1.7.1~1.7.3）（表1.7.1）
　※ 完成図（ ※ 設計図書で示したもの全て　・ 標仕表１.７.２による　・ 監督員の指示による）
　作成方法　※ 原図　用紙　（ ※ ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰ－A1　⊙ A3）
　　作図方法（ ※ CADで作成し出力　・　　　）
　・ マイクロフィルム（ｱﾊﾟｯﾁｬｰｶｰﾄﾞ付）
　※ 製本（原図の青焼き、見開きA3版（2部））
　※ CADデータ（ ※ CD－R（2部）　・　　　）
※ 保全に関する資料（５部）

１３．完成写真
下記のものを監督職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。

分 類・規 格	撮 影 箇 所 数	部 数	写真のサイズ（㎜）
※ カラー写真	外部（　　）内部（	※ 2 ・	※ ｷｬﾋﾞﾈ版　・ ｻｰﾋﾞｽ版
・ カラースライド	外部（　）内部（　）	※ 2 ・	※ 半切　・ 全紙
・ パネル（木製枠）	外部（　）内部（　）	※ 1 ・	24×36以上
※ 電子データ	外部（　　）内部（	※ 2 ・	※ 428万画素以上 ※ 350dpi以上

電子データは、ﾌｨﾙﾑｽｷｬﾝのうえRGB各8ﾋﾞｯﾄ（ﾌﾙｶﾗｰ）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD－Rにて提出とする。
撮影業者　※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者

１４．設備工事との取合い
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

１５．設計GL
※ 図示　　・ 設計GL＝現状GL

2　仮設工事

①．足場その他
足場を設ける場合、「標仕」２.２.４（ｂ）によるほか、設置においては、「手すり先行方法による足場の組立て等に関する基準」における2の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。　（2.2.4）

②．監督員事務所
※ 設ける　　⊙ 設けない　（2.3.1）
　規模　※ 10㎡程度　・ 20㎡程度　・（　　）㎡程度

③．工事用水
構内既存の施設　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　※ [✓ 利用できない]　（2.3.1）

④．工事用電力
構内既存の施設　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　※ [✓ 利用できない]　（2.3.1）

3　土工事

１．埋戻し及び盛土
種別　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　（3.2.3）（表3.2.1）

２．建設発生土の処理
※ 構外搬出適切処理　（3.2.5）
・ 構内の造成に利用　・ 構内の指定場所にたい積　・ 構内の指定範囲に敷きならし

4　地業工事

本工事には該当しない

5　鉄筋工事

本工事には該当しない

6　コンクリート工事

本工事には該当しない

7　鉄骨工事

構造特記による

8　コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

１．補強コンクリートブロック造
※ 空洞ブロック16　　・ 空洞ブロック16－W　（8.2.2）
各部の配筋　※ 図示　（8.2.5）

２．コンクリートブロック帳壁及び塀
※ 標仕表8.3.1及び下表による　（8.3.2）

適用箇所			厚さ（mm）
・ 間仕切壁　・ 地下二重壁　・ 外壁			・
・ 塀	高さ	2m以下	・ 120
		2mを越える	・ 150
・ 衛生配管用裏積みブロック			・ 100 ・

各部の配筋　※図示　（8.3.3）

３．ALCパネル
（8.4.2~8.4.6）（表8.4.2~表8.4.4）

種類	単位荷重（N／㎡）	厚さ（㎜）	取付け工法（種別）
・ 外壁パネル	・ 1180　・ 1980	※ 100 ・	・ A種　・ B種　・ C種
・ 間仕切パネル		※ 100 ・	・ B種　・ C種　・ D種　・ E種
・ 屋根パネル	・ 980	※ 100 ・	※ F種（標仕8.4.5による）
・ 床パネル	・ 2350　・ 3500	※ 100 ・150	

・ 床パネルの耐火性能（ ・ 1時間　・ 2時間 ）　（8.4.2）
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取り合い部の目地幅（mm）
　※ 20　・　（8.4.3）
伸縮目地への耐火目地材の充てん　・ 適用する　（8.4.3）

３．押出成形セメント板（ECP）
（8.5.2~8.5.5）（表8.5.1）（表8.5.2）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別
・ 外壁パネル	※ F　・ F－R			・ A種 ・ B種
	・ D　・ D－R			
	・ T　・ T－R			
・ 間仕切パネル	※ F　・ F－R			・ B種 ・ C種
	・ D　・ D－R			
	・ T　・ T－R			

耐火性能　・ 有り（　　）　・ 無し

④．窯業系サイディング
クギ止通気工法　厚14

9　防水工事

１．アスファルト防水
（9.2.2）（9.2.3）（表9.2.3~表9.2.8）

種別	施工箇所
※ AI－2	
・ A－2	
・D－2	
・BI－2	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・	

アスファルト　※ 3種　・ 4種　（9.2.2）
断熱工法の断熱材　厚さ（㎜）　※ 25　・　（9.2.2）
　ただし、ノンフロンのものとする。
立上り部の保護
・ れんがの種類　※ 見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸとする。
・ 乾式保護材の材料　※ 押出成形セメント板（厚さ　15mm）　（9.2.5）
　製造所　評価名簿による

２．改質アスファルトシート防水
種別　・ AS－1　・ AS－2　厚さ（　　）　（9.3.2~9.3.4）（表9.3.1）
施工箇所　・

３．合成高分子系ルーフィングシート防水
（9.4.2）（9.4.3）（表9.4.1）

種別	厚さ（㎜）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・S－F1	※ 1.2 ・		・ シルバー ・ カラー	※ 非歩行 ・ 軽歩行
・S－F2	※ 2.0 ・			
・S－M1	※ 1.5 ・			
・S－M2	※ 1.5 ・			
・S－M3	※ 1.2 ・			

４．塗膜防水
（9.5.2）（9.5.3）（表9.5.1）（表9.5.2）

種別	施工箇所	備　考
・ X－1		仕上げ塗料塗り ・ シルバー ・ カラー
・ X－2		
・ Y－1	地下外壁防水	Y－2工法の保護シート ※ 適用する　・ 適用しない
・ Y－2		

X－1の脱気装置
　・ 設ける　材質（　　　）　設置数量（　　㎡当たり1箇所）

（１～4についての保証）
防水工事施工者及び請負者連名の保証書（１０年）を提出すること。

⑤．シーリング
下表以外は、標仕表９.６.１による。　（9.6.2）（表9.6.1）

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外部	ポリサルファイド系　（ＰＳ－２）　ウレタン系（外装材専用材）
水廻り	シリコン系　（ＳＲ－２）

10　石工事

１．石材
石の品質　（10.2.1）（表10.2.1）（表10.2.2）
　床用石材　※2等品　・1等品（施工箇所　　）
　壁及びその他の石材　※1等品　・2等品（施工箇所　　）
・ 天然石張り
　天然石の種類・表面仕上げ

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類
上り框、巾木	御影石		30	本磨き

・ テラゾ張り
　種石の種類　※ 大理石　・　（10.2.1）（表10.2.2）
　表面仕上げ　※ 本磨き　・
　形状・寸法　※ 図示

２．壁の石張り工法
外壁石張り　（10.3.2）（10.3.3）（10.5.2）（10.5.3）
　工法
　・ 外壁湿式工法（ ※ 流し筋工法　・　　　）
　・ 乾式工法
　石裏面処理　・ 行わない　・ 行う（ ・ 小口共）
　裏打ち処理　・ 行わない　・ 行う
　ドレインパイプ　※ ステンレスSUS304　・

内壁石張り　（10.4.2）（10.4.3）（10.5.2）（10.5.3）
　工法
　・ 内壁空積工法（ ※ あと施工アンカー横筋流し工法　・ あと施工アンカー工法）
　・ 乾式工法
　石裏面処理　・ 行わない　・ 行う（ ・ 小口共）
　裏打ち処理　・ 行わない　・ 行う

３．床及び階段の石張り
床石張りの裏面処理　・ 行わない　・ 行う　（10.6.2）
階段石張りの裏面処理　・ 行わない　・ 行う　（10.6.3）
屋内のワックス掛け　・ 行わない　・ 行う　（10.1.5）

11　タイル工事

１．陶磁器質タイル
タイルの種類　（11.2.1）

主な用途による区分 施工箇所	形状・寸法（mm）	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	無釉	施釉	有	無	標準	特注		有	無	
床	100													ピアッツァOXｼﾘｰｽﾞ／INAX相当

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　　　）

２．張り付け用材料
既製調合モルタル　（11.2.3）

保水率（%）	単位容積質量（ｋｇ／ｌ）	接着強さ（N／mm2）		長さ変化率（%）	曲げ強さ（N／mm2）
		標準時	温冷繰返し後		
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級　※ 規制対象外　・ 第三種　（11.2.3）

３．壁タイル張りの工法
内装タイル　※ 壁タイル接着剤張り　・ 改良積上げ張り　（11.3.3）（表11.3.2）
外装タイル　※ 密着張り　・ マスク張り
　躯体表面の処理　・ 行わない　※ 行う（施工範囲　※ 図示　・　　）
　躯体表面の処理方法　MCR工法又は目荒し工法
　　MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面を凹凸状態とする。
　　高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧５０N／mm2以上かつ２.５分／㎡以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

下地モルタル塗り　※ 標仕１５.２.２~１５.２.５による
タイルの試験張り　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　　）　（11.2.1）

４．陶磁器質タイル型枠先付け工法
（11.2.2）（11.4.2）（表11.4.1）

種　別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※ タイルシート法	・ 小口タイル ・ 二丁掛タイル	※ 標仕6.9.3［材料］（ｂ）（２）又は金属製ﾀｲﾙ先付け用パネル ・
・ 目地桝工法		
・ 桟木法	大型タイル	

備考

伝　刀　建　築　構　造　事　務　所
長野県大町市平 7610
TEL 0261-22-6950
〒398-0001 FAX 0261-22-4520
事務所登録　長野県知事登録（大町）F第89041号
一級建築士登録（大臣）第173277号
構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号 伝刀修司

年月日	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
R.8.10	A1 出力時： S＝1：100 A3 出力時： S＝1：200	令和８年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	建築工事特記仕様書（1）	No. A － 1

12 木工事

1.木材

木材の品質
木材の工事現場搬入時の含水率 ※ A種 ・ B種
※ 標仕12.2.1による ・ 信州木材認証製品又は同等品 ・ 市販品 (12.2.1)
・ 保存処理木材を適用する箇所（ ）
・ 間伐材等 ・ 使用する（使用個所 ）
間伐材等：間伐材、林地残材又は小径木であること。

樹種
※ 標仕表12.2.3による (12.2.1)(表12.2.3)
・ 代用樹種を適用しない箇所（ ）

2.集成材等 (12.2.2)

種別	施工個所	強度等級・材面の品質 性能・使用環境・樹種名・規格等	間伐材等の適用
・ 構造用集成材		※ 図示	
・ 構造用単板積層材		※ 図示	
・ 造作用集成材	上り框、見切材	※ 図示	
・ 化粧ばり造作用集成材		※ 図示	

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種
間伐材等：間伐材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。

3.接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。 (12.2.6)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

4.防腐・防蟻処理

防腐処理 ※ 行う（ ※ 標仕12.2.8(C)による ・ 図示 ）・ 行わない(12.2.8)(12.2.9)
防蟻処理 ・ 行う（ ※ 図示 ・ ）・ 行わない
防腐、防蟻処理の種類、品質 K3以上
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。
（クロルピリホスを含むものを添加しないこと）

5.防虫処理

行う箇所（ ） (12.2.10)

6.床板張り用合板及びその他の合板 (12.2.2)

種別	施工個所	厚さ(mm)	接着の程度	表板の樹種名・品質・等級・性能等	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
・ 普通合板	床、壁	5.5 9 12	※ 1類 ・ 2類	※ 図示	・あり ・なし	・難燃処理 ・防炎処理	
・ 構造用合板	屋根	12	・ 1類 ※ 特類	※ 図示	・あり ・なし	・難燃処理 ・防炎処理	
・ 天然木化粧合板			・ 1類 ・ 2類	※ 図示	・あり ・なし	・難燃処理 ・防炎処理	
・ 特殊加工化粧合板			・ 1類 ・ 2類	※ 図示	・あり ・なし	・難燃処理 ・防炎処理	

間伐材等：間伐材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。

7.建築材料

クロルピリホスをあらかじめ添加したものを使用しないこと。ただし、発散するおそれがないものとして、国土交通大臣が認める材料についてはこの限りでない。

13 屋根及びとい工事

1.長尺金属板葺き (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	材種	塗装種別	板厚(㎜)
・ 瓦棒葺（心木なし） ・ 立はぜ葺（・立平 ・あり掛） ・ 横葺（・定尺 ・長尺） ※ 図示	※ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・	※ ふっ素 ・ポリエステル樹脂 （10年保証）	※ 0.4 ・ 0.5

下葺材料 ※ ゴムアス防水シート ・

2.折板葺 (13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形式	※ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形		
形状(mm)	山高（ ） 山ピッチ（ ）	板厚	※ 0.6 ・ 0.8 ・
材料（規格等）	※ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・		
軒先面戸板	※ 有り ・ 無し		
断熱材	※ 有り（種別： 厚さ： mm） ・ 無し		
耐火性能	※ 30分耐火 ・ 無し		

（1及び2についての保証）

- 長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。
- 上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

3.とい

材種 ※ 配管用鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 (13.5.2)(表13.5.1)
・ ステンレス鋼板 ・ 表面処理鋼板
・
鋼管製といの防露 ※ 標仕表13.5.3 による (13.5.3)(表13.5.4)
防露材のホルムアルデヒド放散量の等級 ※ 規制対象外 ・ 第三種 (13.5.2)
掃除口 ※ 有り（図示） ・ 無し

14 金属工事

1.ｽﾃﾝﾚｽの表面仕上げ (14.2.1)

種類	施工箇所
※ HL程度	下記以外の見え掛かり全て（ステンレスタラップは除く）
・ No.2B程度	
・ 鏡面仕上げ	

2.ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)

種別	施工箇所
・ B−1種（無着色）	
・ B−2種（ ・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ ﾌﾞﾗｯｸ ・ ｽﾃﾝｶﾗｰ）	

3.鉄の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・ A種	
	・ B種	
	・ C種	
電気亜鉛めっき	・ D種	
	・ E種	
	・ F種	

4.軽量鉄骨天井下地

天井のふところが屋内1.5m以上、屋外が 1.0 m以上の場合 (14.4.4)
※ 吊りボルトの補強を行う ・
天井のふところが3mを超える場合の補強 ※ 図示
耐震性を考慮した補強 ※ 図示
屋外の軒天井及びピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ※ 図示

5.軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 (14.5.3)(表14.5.1)

6.金属成形板張り (14.6.2)(表14.2.1)

形状	製法	材種	寸法(㎜)	厚(㎜)	表面処理
・ ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・ 押出し ・ ロール	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製 ・	角波（働き巾148）	0.4	・ B−1種 ・ B−2種（ ）
・ ﾊﾟﾈﾙ形	※ プレス ・				

伸縮調整継手 ※ 設けない ・ 設ける（施工箇所は図示） (14.6.3)

7.ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木 (14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考
・ 250形	1.6以上	※ A−1又はB−1種 ・ B−2種（ ）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・ 300形	1.8以上			
・ 350形	2.0以上			
・ 100形				
・				

8.手すり及びタラップ (14.2.1)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.2)

種類	材料の種別	表面処理
・ 手すり	※ ステンレスSUS304	※ HL程度 ・ 鏡面程度 ・
	・ 鉄	亜鉛めっき 外部 ※ C種 内部 ※ E種
・ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し ・
	・ 鉄	亜鉛めっき 内外部 ※ C種 ・

15 左官工事

①.モルタル塗り材料

吸水調整材 (15.2.2)

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm2)	界面破断率(%)
表示値 ±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤） (15.2.2)
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 （JIS A 1404による試験）

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
ｾﾒﾝﾄ重量の5%以下	JIS R5201の試験 8において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以下	95%以下	80%以下 294.0 KPa/h

安全性 膨張性のひび割れおよびそりがないこと。JIS R5201の試験9

2.床ｺﾝｸﾘｰﾄの直均し仕上げ

下表以外は、標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による (表6.2.4)(15.3.1)(15.3.2)

施工箇所	平たん差(mm)	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（溝構法）範囲	3mにつき7以下	

3.仕上塗材仕上げ (15.5.2)(表15.5.1)

種類	呼び名	仕上げの形状等
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Si	
	・ 可とう形外装薄塗材Si	
	・ 外装薄塗材E	リシン系 原則、外装材ﾒｰｶｰ推奨品とする。
	・ 内装薄塗材E	砂壁状じゅらく
	・ 可とう形外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
	・ 防水形外装薄塗材E	・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状
	・ 外装薄塗材S	砂壁状
	・ 内装薄塗材C	
	・ 内装薄塗材L	
	・ 内装薄塗材Si	
	・ 内装薄塗材W	京壁状じゅらく
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材CE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ※ 凹凸模様 耐候性 ※ 3種 ・ 上塗材 溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック 防水形の増塗材 ※ 行う
	・ 可とう形複層塗材CE	
	・ 複層塗材Si	
	・ 複層塗材E	
	※ 複層塗材RE	
	・ 複層塗材RS	
	・ 防水形複層塗材CE	
	・ 防水形複層塗材E	
	・ 防水形複層塗材RE	
	・ 防水形複層塗材RS	
・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	砂壁状
	・ こて塗用軽量塗材	平たん状

建築内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※ 規制対象外 ・ 第三種

防火材料の指定
※ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

4.珪藻土

JIS A 6909（建築用仕上塗材）により、製造所において指定された色及びつや等に調合し、有効期間を経過したものは使用しない。

16 建具工事

1.見本の製作等

・ 特殊な建具の仮組（建具番号： ） (16.1.4)

②.防犯建物部品

・ 適用あり（図示） (16.1.6)

3.ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(㎜)	施工箇所
・ A種	・S-4・S-3・S	※2A−3	※ W−4	※ 70	※ 図示
・ B種	S−5	・	・	・ 80	
・ C種	S−6	・ A−4	W−5	100	

表面処理 ※ B−1種 ・ B−2種（ ※ ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ ﾌﾞﾗｯｸ ・ ｽﾃﾝｶﾗｰ）(表14.2.1)
防音ドアセット ・ 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級（ ）
断熱ドアセット ・ 断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級（ ）
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級（ ）
屋内建具
表面処理 ※ C−1種又はB−1種 ・ 図示 (表14.2.1)
・ C−2種又はB−2種（ ・ ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ ﾌﾞﾗｯｸ ・ ｽﾃﾝｶﾗｰ）

4.網戸

防虫網
網の種別 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS316) ・ 合成樹脂製 (16.2.3)
形式 ※ 外部可動式 ・ 固定式

⑤.鋼製建具

簡易気密型ドアセット (16.3.2)(表16.3.1)
※ 適用する（適用箇所は建具表による） ・ 適用しない
耐風圧性 (16.3.2)(表16.2.1)
※ 適用する（適用箇所は建具表による） ・ 適用しない
特定防火設備の戸 ・ 適用する

標準型鋼製建具 ・ 適用する (16.3.6)

6.鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット (16.4.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による） ・ 適用しない
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は
有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板類の厚さ ※ 図示 (16.4.4)
標準型鋼製軽量建具 ・ 適用する (16.4.5)

7.ｽﾃﾝﾚｽ製建具

簡易気密型ドアセット (16.5.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による） ・ 適用しない
耐風圧性 (16.5.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による） ・ 適用しない
表面仕上げ ※ HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ ・ (16.5.4)
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（補強あり） (16.5.5)
特定防火設備の戸 ・ 適用する (表16.5.1)

施工個所	鋼材の種類
屋外	※ SUS304又はSUS430JIL
屋内	※ SUS430 ・ SUS304又はSUS430JIL

8.木製建具

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量の等級 (16.6.2)
※ 規制対象外 ・ 第三種
かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） ・ 図示 (16.6.2)
ふすまの上張り ※ 新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）・ 鳥の子・ 化粧シート (表16.6.3)
縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装） (表16.6.9)
・ 化粧シート

9.建具用金物

マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない (16.7.4)
建築用金物 (1616.6)61616.6)6)
錠類は、シリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける
吊り金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい） ・ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ

10.自動ドア開閉装置 (16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1~3)

開閉方法	センサの種類
※ スライディングドア	・ 熱線スイッチ ・ マットスイッチ ・ ペダルスイッチ
種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD	・光電スイッチ ・ タッチスイッチ ・ 音波スイッチ
・ DSLD-1 ・ DSLD	※光線反射スイッチ ・ 電波スイッチ ・ 押ボタンスイッチ
・ スイングドア	・ 多機能便所スイッチ
・ SWD-1 ・ SWD-2	

※ 凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

11.自閉式上吊り引戸装置

材料 ※ SUS304アルミニウム製等防錆性能を有するもの
・ 製造所標準仕様による (16.9.2)(16.9.3)
性能等 ※ 標仕16.9.1による
・ 製造所標準仕様による

12.重量ｼｬｯﾀｰ (16.10.2)

シャッターの種類	
・ 一般重量シャッター	耐風圧性能（ ）N/㎡
・ 外壁用防火シャッター	耐風圧性能（ ）N/㎡
・ 屋内用防火シャッター	
・ 屋内用防煙シャッター	

開閉機能 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 (16.10.2)(表16.10.1)
危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・ ｼｬｯﾀｰの二段降下方式
一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ ※ 設ける ・ 設けない (16.10.2)

13.軽量ｼｬｯﾀｰ

開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用） (16.11.2)(表16.11.1)
ｽﾗｯﾄ 材質 ※ JIS G3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又はJIS G3318
（塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯） (16.11.3)
・ 鋼板
形状 ※ ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形 (16.11.4)
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等 ※ 鋼板製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304（厚さ1.0㎜） (表16.11.2)
耐風圧性能 （ ）N/㎡

14.ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ (16.12.2)(16.2.3)

ｾｸｼｮﾝ材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※ ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	※ ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ ﾁｪｰﾝ式 電動式	・ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型 ・ ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)

耐風圧性能 （ 500pa ）N/㎡

15.ｶﾞﾗｽ

※ 建具表による (16.13.2)(16.13.5)
・ ガラスブロック

表面形状	呼び寸法(mm)	色調	防火性能
・ 正方形 ・ 長方形		※ クリア ・ 熱線反射 ・ 乳白 ・ カラー（ ）	※ 無し ・ 有り

16.ｶﾞﾗｽ留め材及び溝

ｶﾞﾗｽ留め材 (16.13.2)(表9.6.1)

建具の種類	材種
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット 住宅用
鋼製及び軽量鋼製	※ シーリング材
ステンレス製	※ シーリング材

ただし、防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3)
標仕16.13.3以外のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具及び板ｶﾞﾗｽの場合は（社）日本建築学会JASS17ｶﾞﾗｽ工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける

17.ｶﾞﾗｽ用ﾌｨﾙﾑ（内張り用）

用途による区分	記号
・ ガラス飛散防止フィルム	※ GS-A・B
・ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	・ SC-A/GS-A・B ・ SC-B/GS-A・B
・ ガラス貫通防止フィルム	※ SF-A
・ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	・ SC-A/SF-A

品質 JIS A5759による

17 カーテンウォール工事

1.ﾒﾀﾙｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ材料の種類 (17.2.2)

種類	規格等
※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※ 標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による

ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ材料の方式
・ 方立方式
・ ﾊﾞｯｸﾏﾘｵﾝ方式（ ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法）
・ ﾊﾟﾈﾙ方式
・ ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ方式
・ 小型ﾊﾟﾈﾙ組み合わせ方式（ ・ ﾉｯｸﾀﾞｳﾝ方式 ・ ﾕﾆｯﾄ方式）

ｼｰﾘﾝｸﾞ材及びｶﾞﾗｽ取付材料 (9.6.2)(17.2.2)(表9.6.1)
下記以外は標仕表9.6.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区別	耐久性による区別
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット ※ 適用しない (17.2.2)
・ 適用する （施工箇所： ）
断熱材 ※ 適用しない (17.2.2)
・ 適用する （種類： 厚さ(㎜)： 施工箇所 ※図示）
製品の寸法許容差 ※ 標仕表17.2.1による (17.2.3)(表17.2.1)
・ 製造所標準製作規定寸法許容差による

ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理 (17.2.3)(表14.2.1)

種別		色彩等
・ A−1種 ・ B−1種		無着色
・ A−2種 ・ B−2種		※ ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ ｽﾃﾝｶﾗｰ ・
・ 着色塗膜	塗装材料（ ）	焼付け方法（ ） ｺｰﾄ（ ） ﾍﾞｰｸ

耐風圧性能 (17.1.3)
性能値 ※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対し安全であること
・ 正圧（ ）N/㎡以上及び負圧（ ）N/㎡以上に対して安全であること

主要部材のたわみ

支点間距離(h)	たわみ量	状態
※ 4m以下	※ ±(1/150)×h かつ絶対量20㎜以下	※ 各部の破損、残留変形、有害な変形が起こらないこと
・ 4mを超える	・	

耐震性能 (17.1.3)
設計用震度 水平方向(KH) ※ 1.0 ・
垂直方向(KV) ※ 0.5 ・

構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※ ±(1/100)×h以上 ・	※ 部材の脱落、ｶﾞﾗｽの破損及び主要部材に有害な歪が起こらない。 ｼｰﾘﾝｸﾞは補修程度。
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	※ ±(1/200)×h以上 ・	

水密性 ・ W−4 ・ W−5 ・ (17.1.3)
気密性 ・ A−3 ・ A−4 ・ (17.1.3)
耐火性能 ※ 適用しない ・ 適用する（ 時間、施工箇所：図示）
耐熱温度差性(℃) ・ 60 ・ 70 ・ 80
遮音性 ・ T3 ・ T4 ・T5
断熱性 ・ H−2 ・ H−3 ・ H−4 ・ H−5
映像調整 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）
製造所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

備考

伝刀建築構造事務所
長野県大町市平7610
TEL 0261-22-6950
〒398-0001 FAX 0261-22-4520
事務所登録 長野県知事登録（大町）F第89041号
一級建築士登録（大臣）第173277号
構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号 伝刀修司

年月日	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
R.8.10	A1 出力時： S=1:100 A3 出力時： S=1:200	令和8年度 大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	建築工事特記仕様書（2）	No. A-2

17 カーテンウォール工事

2.PCｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)
※ 標仕17.3.2による。
・ 下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所用スランプ（㎝）

鉄筋 ※ SD295A ・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 (14.2.3)(表14.2.2)
下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

金物種類及び部位	内部	外部
PC版打込み金物	※ E種 ・	※ A種 ・
PC版打込み取付ボルト	※ E種 ・	※ ステンレスボルト
2次ファスナー	※ E種 ・	※ A種 ・
取付けボルト	※ E種 ・	※ A種 ・
レベル調整ボルト	※ E種 ・	※ A種 ・

シーリング材料 (9.6.2)(17.3.2)(表9.6.1)
下記以外は標仕表9.6.1による

施工箇所	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

耐火目地材 ・ 適用する ※ 図示
断熱材 ※ 適用しない
・ 適用する （種類： 厚さ（㎜）： 施工箇所：※図示）
製品の寸法許容差 ※ 標仕表17.3.1による (17.3.3)(表17.3.1)
・ 製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ （ ）
耐火材料

施工部位	種別	規格等
・ ファスナー部		
・ 取付ブラケット		
・ パネル目地部		
・ 層間ふさぎ		

耐風圧性能 (17.1.3)
性能値 ※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対し安全であること
・ 正圧（ ）N/㎡以上及び負圧（ ）N/㎡以上に対して安全であること

耐震性能 (17.1.3)
設計用震度 水平方向（KH） ※ 1.0 ・
垂直方向（KV） ※ 0.5 ・

構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態
鉄骨造	※ ±（1/100）×h以上 ・	※ 部材が損傷せず破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない。 シーリングは補修程度。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※ ±（1/200）×h以上 ・	

18 塗装工事

①.材 料

屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする (18.1.3)
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)
※ 規制対象外 ・ 第三種

②.塗装業者（保 証）

⊙ 日本塗装工業会の会員 ⊙ 監督職員の承諾する業者
※ 塗装業者、請負者連名の保証書（3年）を提出すること。

③.素地ごしらえ

木部の素地ごしらえ (18.2.2)(表18.2.1)
種別 （・A種 ・B種 ）
鉄鋼面の素地ごしらえ (18.2.3)(表18.2.2)
種別 （⊙A種 ・B種 ※C種 ）
亜鉛メッキ鋼面の素地こしらえ (18.2.4)(表18.2.3)

種 別	施工部位別及び塗料種別
・ A 種	鋼製建具及び、2液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗りの場合
・ B 種	A種、C種以外
・ C 種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ (18.2.5)(表18.2.4)
種別 ※ B種 ・ A種（施工箇所： ）
コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえ (18.2.6)(表18.2.5)
種別 ※ B種 ・ A種（施工箇所： ）
2-UE、2-ASE、2-FUEの場合のｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の素地ごしらえ (18.2.6)(表18.2.6)
種別 ※ B種 ・ A種（施工箇所： ）
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえ (18.2.7)(表18.2.7)
種別 ※ B種 ・ A種（施工箇所： ）

④.錆止め塗料塗り

鉄鋼面 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1)(表18.3.3)
塗料の種別 屋 外（※ A種 JIS K 5674 ） 屋 内（※ A種 JIS K5674 ・ B種 ）
塗りの種別 見掛り部 ※ A種 見隠れ部 （※ B種 ・ ）
亜鉛めっき鋼面 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.2)(表18.3.4)
塗料の種別 ※ A種 ・ B種 ・ C種
塗りの種別 鋼製建具 ※ A種 ・ B種 ・ C種
その他 ・ A種 ・ B種 ※ C種

5.合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP）

木部 (18.4.2)(18.4.3)(表18.4.1)
塗料の種類 ※ 1種 ・
塗りの種別 屋外 ※ A種 ・ B種
屋内 ・ A種 ※ B種
鉄鋼面 (18.4.4)(表18.4.2)
塗料の種類 ※ 1種 ・
塗りの種別 ・ A種 ※ B種
亜鉛めっき鋼面 (18.4.5)(表18.4.3)
塗料の種類 ※ 1種 ・

6.ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り（CL）

塗りの種別 ※ A種 ・ B種 (18.5.2)(表18.5.1)
⊙天然系塗料（ﾒｰｶｰ推奨による）

7.ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散型塗料塗り（NAD）

塗りの種別 ・ A種 ※ B種 (18.6.2)(表18.6.1)

8.耐候性塗料塗り（DP）

鉄鋼面の上塗り等級 (18.7.2)(表18.7.1)

等級	塗料の種別
・ 1級	ふっ素樹脂塗料
・ 2級	アクリルシリコン樹脂塗料
・ 3級	ポリウレタン樹脂塗料

亜鉛めっき鋼面の上塗り等級 (18.7.3)(表18.7.2)

等級	塗料の種別
・ 1級	ふっ素樹脂塗料
・ 2級	アクリルシリコン樹脂塗料
・ 3級	ポリウレタン樹脂塗料

コンクリート面及び押出成形セメント板面 (18.7.4)(表18.7.3)
塗りの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種

9.つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP-G）

ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等 (18.8.2)(表18.8.1)
塗りの種別 ・ A種 ※ B種
鉄鋼面 (18.8.4)(表18.8.3)
塗りの種別 ・ A種 ※ B種

10.合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP）

塗りの種別 ・ A種 ※ B種 (18.9.2)(表18.9.1)

11.合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り（EP-T）

塗りの種別 ・ A種 ※ B種 (18.10.2)(表18.10.1)

12.ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り（UC）

塗りの種別 ・ A種 ※ B種 (18.11.2)(表18.11.1)

13.木材保護塗料塗り（WP）

塗りの種別 ・ A種 ※ B種 (18.13.2)(表18.13.1)

14.ﾏｽﾁｯｸ塗材塗り

塗りの種別 ・ A種 ・ B種 (18.14.2)(表18.14.1)

15.床用塗料塗り

材質 ウレタン樹脂系塗料（ ※ 標準色 ・ ）
仕上種別 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ
塗布量 プライマー塗りの上、主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

16.防塵用塗料塗り

材質 水性アクリル系樹脂塗料（ ※ 標準色 ・ ）
仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする

19 内装工事

1.接 着 剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種 (19.2.2)(19.3.3)(19.8.2)
※ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

2.ビニル床シート張り

(19.2.2)

種類	記号	色柄	厚さ（㎜）
・ 発泡層のないもの	※ NC ・	※ 無地 ・ マーブル柄	※ 2.5 ・ 2.0
・ 発泡層のあるもの		※ 柄物 ・ 無地	・ 2.8

工法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け（施工箇所： ） (19.2.3)

3.ビニル床タイル張り

(19.2.2)

種類	記号	厚さ（㎜）	備考
※ コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※ 2.0	
・ コンポジションビニル床タイル（軟 質）	CTS		
・ ホモジニアスビニル床タイル	HT		

4.帯電防止床ﾀｲﾙ張り

(19.2.2)

種 類	厚さ（mm）	性 能
・ コンポジションビニル床タイル	※ 2.0 ・	体積抵抗値（JIS K 6911による）$1.0\times10^{9}\Omega$以下、又は漏えい抵抗値（JIS A 1454による）$1.0\times10^{10}\Omega$未満
・ ホモジニアスビニル床タイル	※ 4.0又は4.5	
・	・	

5.ﾋﾞﾆﾙ幅木

高さ（㎜） ・ 60 ※ 75 ・ 100 ・ 330（階段ささら） (19.2.2)

6.ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き

・ 織じゅうたん (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)(表19.3.2)

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	備考
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループパイル併用	人体帯電圧 ※ 3kV以下 ・	※ 単一色（無地） ・ 柄物（標準品） ・	

・ タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性
・ カットパイル	※ 5~7 ・	※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	人体帯電圧 ※ 3kV以下 ・
・ ループパイル	※ 4~6 ・		
・ カット、ループ併用	・		

・ タイルカーペット (19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	種類	種類	総厚さ（mm）	備考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種	※ 500×500 ・	※ 6.5	
・ カットパイル				
・ カット、ループ併用				

帯電性 ※ 人体帯電圧3kV以下（ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ敷設範囲）
・

7.合成樹脂塗床

(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~表19.4.7)

種別	仕上げの種類
・ 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材	※ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ（ ※ 平滑 ・ 防滑） ・ 樹脂モルタル仕上げ（ ※ 平滑 ・ 防滑） ・ 防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

8.ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り

・床暖対応品 (19.5.2~19.5.7)(表19.5.1~表19.5.4)

種別		樹種	工法	仕上塗料等	間伐材等の適用
単層	・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ ・ ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ	※ なら ひのき 桜	・ ﾓﾙﾀﾙ埋込み工法 ・ 釘留め工法（A種） ・ 釘留め工法（B種） ※ 釘留め工法（C種） ・ 接着工法（釘併用）	※ ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り ・ ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗りのうえﾜｯｸｽ塗り ・ 生地のままﾜｯｸｽ塗り ・ 無塗装・ 塗装付	・
複合	・ 複合1種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ・ 複合2種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ・ 複合3種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ				
					・
					・

複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞの化粧加工の方法は、天然木化粧とする。 (19.5.2)
ホルムアルデヒト放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種

・ ﾓﾙﾀﾙ埋込み工法のﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの厚さ （ mm） (19.5.4)
・ ﾓﾙﾀﾙ埋込み工法のﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの大きさ （ × mm）

・ 接着工法のﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄの厚さ （ mm） (19.5.6)
・ 接着工法のﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄの大きさ （ × mm）

接着工法のﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ裏面の緩衝剤 ※ 合成樹脂発泡ｼｰﾄ ・ (19.5.6)

9.畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

下地の種類	畳の種別	備 考
標仕表12.5.1による床組	※ B種 ・	
ポリスチレンフォーム床下地	※ C種 ・	

畳表及び畳床は揮発生有機化合物含有量が少ないものとする。

10.ポリスチレンフォーム床下地材

ノンフロンのもの
畳下地 厚さ（mm） ※ 40 ・ 65 ・ 80 （不燃）
フローリング類 厚さ（mm） ※ 80 ・ 95 （不燃）

11.せっこうボードその他ボード張り

(19.7.2)(表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ（㎜）、規格等
・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ 硬質木片セメント板	NF	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ けい酸カルシウム板	0.8FK	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿）（ ・ 6 ・ 8 ・ ）
・ ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※ ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（ ※ 9（不燃） ・ 12 ・ ）
・ ロックウール化粧吸音板（外部用）		※ ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（ ※ 9（不燃） ・ 12 ・ ） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（ ※ 12（不燃） ・ 15 ・ 19 ・）
・ せっこうボード	GB-R	・ 9.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃） ・ 12.5（準不燃）
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） ・ 凹凸ﾀｲﾌﾟ（ ※ 12（不燃）・15・19・） 化粧有（トラバーチン模様）
・ シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5（不燃） ・ 15.0（不燃）
・ せっこうラスボード	GB-L	9.5
・ 化粧せっこうボード	GB-D	9.5（ ※ 準不燃 ・ 不燃）
・ 化粧せっこうボード（木目）		12.5（不燃） 幅440程度 模様（ ※ 柾目 ・ 板目）専用下地材付き
・ 普通合板（難燃処理）		・ 生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・ 不透明塗料塗り（しな合板程度）
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による 厚さ1.2
・ ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・素地MDF（RS） ・ 化粧MDF（・DV ・DO ・PC） ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板VN ・ 研磨板VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
・ ハードボード（素地）	HB	・ 素地 ・ RN-HB ・ RS-HB ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
・ インシュレーションボード	IB	・ T-IB ・ A-IB ・ S-IB ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2)(表9.6.1)
※ 適用する（ ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド）
・適用しない

せっこうボードの目地工法 (19.7.3)(表9.7.5)

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類
・ 継目処理工法	※ テーパーエッジ ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ
・ 突付け工法	・ テーパーエッジ ※ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ
・ 目透し工法	・ テーパーエッジ ※ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ

12.吸音材

(表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ（㎜）
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※ 25 ・
※ 高性能グラスウール16K（袋入耳付）	GW-B	※ 25 ・100

（記号C） λ=0.04~0.035

13.壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備考
	紙	繊維（織物）	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質		
図示						※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
						※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
						※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
						※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
						※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
						※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	

素地ごしらえ (表18.2.4)(表18.2.7)
モルタル面、プラスター面 ※ B種 ・ A種（施工箇所： ）
せっこうボート面 ※ B種 ・ A種（施工箇所： ）
壁紙のホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)
※ 規制対象外 ・ 第三種

14.断熱材

(19.9.2)(19.9.3)

種類		施工箇所	厚さ（㎜）	品質等
・ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板 （記号E）λ=0.028~0.023	※ 2種b	※ 一般部	※ 25	ノンフロンのもの
	※ 3種b	・ 接地部分 ・ RC部分 ・ 床	※ 25 ・ 65 ・ 50	
・ ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温板	※ A種			ノンフロンのもの
・ 現場発泡断熱材（吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ）	※ A種1 ・	※ 断熱材補修部分		ノンフロンのもの
		・ 一般部	※ 25	※ 難燃性
・ 断熱材兼用型枠	・ 木質系 ・ ｺﾝｸﾘｰﾄ系 ・ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系	※壁（図示の範囲）	※40以下 ・	断熱抵抗=厚さ/熱伝導率 =0.676以上（㎡・K/W）
		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの。		

ﾛｯｸｳｰﾙ、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ、ﾌｪﾉｰﾙﾎｰﾑ、ﾕﾘｱ樹脂又はﾒﾗﾐﾝ樹脂を使用した断熱材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種
※ 住宅用グラスウール10K （壁：t100 天井：t100+100）

15.浴室天井

市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅（㎜）	備考
※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※ 焼付け塗装品	準不燃品	※ 200	廻り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。
	・ アルマイト処理品		・ 100	
・ 硬質塩ビ製	※ 塗装品 ・ 木目調		※ 300 ・ 100	

16.単板羽目板張り

材種 ※ 信州産唐松 ・ 桧（信州木材認証製品又は同等品）
・ 信州産杉 （信州木材認証製品又は同等品）
・

20 ユニット及びその他工事

1.フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
	・ ﾊﾟﾈﾙ構法 ・ 溝構法	・ ※ 50未満	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3,000N ・ 5,000N	・ 帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ ・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ ﾊﾟﾈﾙ構法 ・ 溝構法	・ ※ 50未満	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3,000N ・ 5,000N	・ 帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ ・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ ﾊﾟﾈﾙ構法 ・ 溝構法	・ ※ 50未満	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3,000N ・ 5,000N	・ 帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ ・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

耐震性能5,000N、高さ300mm以上については、平成元年建設省告示第1322号「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー ※ 製造所の標準仕様 ・ 図示
コンセント等の取付け対応 ※ 製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル 配線取り出し開口： ﾊﾟﾈﾙ1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合 ※ 20~30% ・
空調用吹き出しパネル ※ 無し
・ 有り （※ 固定式 ・ 可変式 ：施工箇所は図示）

2.可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ（㎜）	構成基材	表面材種厚さ（㎜）	仕上げ	遮音性能	防火性能
・ ﾊﾟﾈﾙ式 ・ ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・	・	※ 鋼板 （※ 0.6 ・ 0.8）	※ ﾒﾗﾐﾝ樹脂又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付	・ 有 （ ） ・ 無	・ 有 ・ 無

3.移動式間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ（㎜）	表面材	表面仕上げ	パネルの操作方法	圧接装置
・ 一般タイプ		※鋼板 ・ 合板	・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・
・ 遮音タイプ （ dB以上（500Hz））		※鋼板 ・	・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する
ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ取付け下地の補強方法（ ）
ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙの固定の際のあと施工ｱﾝｶｰ （種類： 材質： 寸法： ）

4.トイレブース

表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂化粧板（標準色 アルミ製コーナーエッジ付き） (20.2.5)
・ ポリエステル樹脂系化粧板
構成基材 ・ MDF（ mm） ・ ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ+ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ（9.0mm） ・
足形状 ※ 幅木型 ・ 足金物型

5.階段滑止め

材種 SUS304 (20.2.6)
形状 ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド ・ 無 ※ 有（ ・ SUS304 ※ ビニル製）
幅（㎜） 約35
取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6.階段手すり

※ 集成材クリアラッカー仕上げ（ ・ 市販品 径 40 ㎜ ・ 35 mm） ・ゴム
・ステンレス製（SUS304）屋外 （ ・ 市販品 径 38 ㎜ ・ mm）

7.黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

	種類	寸法（㎜）	色彩	備考
・ 黒板	※ 焼付け		※ 緑 ・ 黒	※ 平面 ・ 曲面 ・ ｽｸﾘｰﾝ付引分
			※ 緑 ・ 黒	
・ ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（行事用）	※ ほうろう	1200×900	※ 白	※ 平面 ・ 曲面 ・ ｽｸﾘｰﾝ付引分
			※ 白	

8.鏡

寸法（mm） ・ 図示 (20.2.9)
厚さ（mm） ※ 5

9.表示

衝突防止表示 ※ 図示（市販品 ※ ステンレス製 径約30㎜ ・ ） (20.2.10)
（ ・ 両面 ・ 片面）
・ 無し
表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210 による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

備考

伝 刀 建 築 構 造 事 務 所
長野県大町市平 7610
TEL 0261-22-6950
〒398-0001 FAX 0261-22-4520
事務所登録 長野県知事登録（大町）F第89041号
一級建築士登録 （大臣）第173277号
構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号 伝刀修司

年月日 R.8.10
縮尺 A1 出力時： S=1:100 A3 出力時： S=1:200
工事名称 令和8年度 大町消防署訓練塔塗装等修繕工事
図面名称 建築工事特記仕様書（3）
図面番号 No. A-3

20 ユニット及びその他工事

10.煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ

・ 煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材 (20.2.11)
最高使用温度 ・ 400℃ ・ 650℃
・ ｷｬｽﾀﾌﾞﾙ耐火材
工法 ※ こて押さえ (20.2.11)
最高使用温度 ※ 400℃

11.ブラインド (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※ 横型	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製 ・	※ 25 ・
・ 縦型	・ 1本操作コード ※ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100

12.ロールスクリーン

防炎性能 ※ 有り ・ 無し (20.2.13)

操作方式	幅（mm）	高さ（mm）	材種	品質	備考
ロープ式					

13.カーテン (20.2.14)

施工箇所	形式		装置			ひだの種類	性能	備考
	片引	引分	電動	紐引	手引			
図示							遮光 防災	ｼﾝｺｰﾙ/SB9011I］ 相当

14.カーテンレール

材種 ※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ スチール製（樹脂被覆） (20.2.14)
形式 ・ 片引き ・ 引分け（ ※ 暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15.ブラインドボックス及びカーテンボックス

・ 市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ（㎜） ・ 90×150 ※ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・
色彩 ※ B−1 ・ B−2（ ※ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー）
・ 図示

16.耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・ 垂直方向 ・ 水平方向	※ 完全（全貫通型）スリット	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し

目地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（㎜）	※ 20×10 ・	※ 20×10 ・

17.止水板

形状 ・ 差込式 ・ 据置式 ・ 壁張り式
寸法

18.天井点検口

材質 アルミニウム製（ ※ 額縁タイプ ・ 目地タイプ）

19.床点検口（床下収納）

材質 アルミニウム製 受け枠（ ※ アルミ製 ・ ステンレス製）

20.鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・ 鋼製書架	JISS 1039の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種 ・

21.鍵箱

市販品
形式 ・ 30組用 ・ 60組用 ・ 120組用 ・

22.靴ふきマット

市販品
材質 ・ 塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠） ・ ビニル製（ステンレス製受枠）
・ 硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ ステンレス製（受枠とも）

23.流し台ユニット

種類	寸法（L=㎜）	適用内容	規格・品質等
・ 流し台	※ 1200 ・ 1500 ・ 1800	ﾄﾗｯﾌﾟ付き	※ 優良住宅部品
・ コンロ台	※ 600 ・ 700 ・	ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ ※ 有り	
・ つり戸棚	※ 1200 ・ 900 ・ 600		・
・ 水切り棚	※ 1200 ・ 900 ・	ｽﾃﾝﾚｽ製 ※ 1段式	※ 市販品

・ 図示 （厨房器具：設備図参照）

24.屋内掲示板

枠の材質 ※ アルミニウム製 ・ コルクシート
表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り ・

25.洗面カウンター

材 種 ・ メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材） ・ 人工大理石（品質 ※ 図示）
奥行き（㎜） ・ 約450 ・ 約600

26.防煙垂れ壁

・ 固定式

材 質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備 考
※ 網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付き

・ 可動式

種 類	材 質	高さ（mm）	備 考
・ 垂直降下式 （巻取り型）	※ 不燃布 （不燃認定品）	※ 500 ・ 800 ・	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・ 可動式（天井収納型）
・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

27.誘導用及び注意喚起用床材

ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝはJIS T 9251による (19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋内 ※ 塩化ビニル製 ・ 磁器又はせっ器質タイル（ ※ 300 ・ ）
・ レジンコンクリート製
屋外 ※ レジンコンクリート製 ・ 磁器又はせっ器質タイル（ ※ 300 ・ ）

28.旗竿

材 質 ※ アルミニウム合金製
形 式 ※ テーパー型 ・ 同一断面型
地上高さ（m） ・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12
操作方法 ※ ハンドル式 ・ ロープ式
固定方法 ・ 埋込式 ・ ベース式 ・バンド式

29.旗竿受金物

材種 SUS304

30.フェンス

・ エキスパンドフェンス（ ※ 樹脂塗装 ・ 溶融亜鉛めっき）
・ メッシュフェンス （ ※ 樹脂塗装 ・ ）
・ 図示

31.屋外掲示板

照明器具（LED） ※ 有り ・ 無し
施 錠 ※ 有り ・ 無し

32.車止め支柱

・ ステンレス製（脱着式） 径60.5㎜ H=GL+650㎜ ・ 蓋付ケース、鍵付
※ スプリング付き ・ スプリング無し

33.収納家具

材 質 ※ 図示 ・
形状・寸法 ※ 図示
ホルムアルデヒド放出量 ※ 規制対象外 ・ 第三種

34.エキスパンション・ジョイント金物

材質 ・ アルミ ・ ステンレス
クリアランス ・ 50 ・ 100 ・ 150 ・
耐火性能 ・ 有り（ ） ・ 無し
防水型 ※ 適用する ・ 適用しない

21 排水工事

1.排水管

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（ ※ 1種 ・ 2種）	B形（ゴム接合）
・ 硬質塩化ビニル管	※ VP ・ VU	
・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管	RS−VU ・ RS−VP	

車道部の排水管の敷設 ※ 図示 (21.3.1)(21.3.3)
・ 砂基礎（地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類）

2.排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

種類		適用荷重	
・ 水封形	・ 密閉形（テーパー・パッキン式）	・ T− 2用	・ T−6用
・ 簡易気密形（パッキン式）	・ 中蓋付密閉形	・ T−14用	・ T−20用

グレーチングふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・ 鋼製 ・ ステンレス製	※ 受枠付き ・ 無し	・ 溝ふた用 ・ 桝ふた用 ・ 嵩上げ用 ・ U字溝用	・ 歩行用	※ 細目	※ 凹凸形
	ボルト固定 ※ 無し ・ 図示		・ T−2用 ・ T−6用 ・ T−14用 ・ T−20用	※ 普通目 ・ 細目	※ 平形 ・ 凹凸形

3.浸透管及び浸透桝

製造所 図示

4.その他の材料

地業の材料 ※ 標仕4.6.2による (21.2.3)
コンクリート発注強度 ※ 18N/mm² ・ (21.2.3)
鉄筋の種別 ※ SD295A ・ (21.2.3)(表5.2.1)
埋戻し土 ※ B種 ・ (21.2.3)(表3.2.1)

22 舗装工事

1.盛土に用いる材料

・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (22.2.3)(表3.2.1)

2.遮断層及び凍上抑制層の材料

・ 遮断層 ※ 川砂、海砂又は良質な山砂 ・ (22.2.2)(22.2.3)
・ 凍上抑制層 ※ 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・ ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・ 切り込み砂利 ・ 砂
厚さは図示

3.路床安定処理

※ 添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰（ ） ・ 消石灰（ ）
添加量 ㎏/m³（目標CBR ※ 5以上 ・ ）

4.路床土の支持力比試験

※ 行う （ ※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

5.路床締固め度の試験

※ 行う (22.2.5)

6.砂の粒度試験

※ 行う

7.路盤材料

※再生クラッシャラン（RC−40） (22.3.3)
・クラッシャラン鉄鋼スラグ（CS−40）
・クラッシャラン（C−40）又はクラッシャランスラグ（CS−40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

8.路盤の締固め度の試験

※行う

9.アスファルト舗装

車道部の基層 ※ 無 ・ 有（厚さ ※ 50 ・ 40 ） (22.4.2)(表22.4.1)
アスファルト ※ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト (22.4.3)
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

区分	※ 一般地域	・ 寒冷地域
表層	※ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13）	※ 密粒度アスファルト混合物（13F） ・ 細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・ 粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート ※ 行わない ・ 行う（施工範囲 ） (22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (22.4.6)

10.コンクリート舗装

早強セメント ※ 使用しない ・ 使用する (22.5.3)
注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)
溶接金網 ※ 有り ・ 無し (22.5.3)(22.5.4)
厚さ試験 ※ 行わない ・ 行う (22.5.6)

11.カラー舗装

(22.6.2)(22.6.3)(表22.6.1)(表22.6.2)

種類	材料	区分	車道部の基層
※ 加熱系	・ 有色骨材（焼成） ・ 着色骨材（樹脂被覆） ・ 自然石	・ 車道 ・ 歩道	※ 無 ・ 有
・ 常温系			

12.透水性アスファルト舗装

アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.1)
※ ポリマー改質アスファルトⅠ型 ・ ポリマー改質アスファルトⅡ型
アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (22.7.6)

13.排水性アスファルト舗装

アスファルト混合物 (22.8.3)(表22.7.1)
・ ポリマー改質アスファルトⅠ型 ※ ポリマー改質アスファルトⅡ型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.8.3)(表22.8.2)

適用時期	種類
下記以外	PKR−T1
冬期	PKR−T2

アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (22.8.6)

14.ブロック系舗装

・ コンクリート平板舗装（コンクリート平板は、JIS A 5371の平板） (22.9.2)(22.9.3)

種類	寸法（㎜）	厚さ（㎜）	目地材
※ 普通平板（N） ・ 透水平板（P）	※ 300角 ・	※ 60	※ 砂 ・ モルタル

・ インターロッキングブロック舗装 (22.9.2)(22.9.3)

種類	厚さ（㎜）	色彩及び表面加工等
※ 普通ブロック（N） ・ 透水性ブロック（P） ・ 誘導、注意喚起用ブロック	車道部 ※ 80 ・ 歩道部 ※ 60 ・	※ 標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・ 植生ブロック（V）	※ 80 ・ 100	

インターロッキングブロック（JIS A 5371）

項目		品質・性能		
材料	セメント	JIS R 5210 ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、JIS R 5211 高炉ｾﾒﾝﾄ、JIS R 5212 ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ、JIS R 5213 ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ、白色ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄとする。		
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。		
	混和材料	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質に有害な影響を及ぼさない。		
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。		
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。		
寸法許容差（㎜）		長さ	幅	厚さ
普通タイプ		±3	±3	±3
透水性タイプ		±3	±3	+5〜−1
植生用タイプ		±3	±3	±3
曲げ強度（N/㎟）		普通タイプ	5．0以上	
		透水性タイプ	3．0以上	
		植生用タイプ	4．0以上	
透水係数（㎝/sec）		透水性タイプ	1×10^{-2} 以上	
圧縮強度（N/㎟）		普通タイプ	32．0以上	
		透水性タイプ	17．0以上	

・ 舗石舗装（石材は、JIS A 5003の2等品） (22.9.2)(22.9.3)

種類	厚さ（㎜）	施工方法	基層
※ 小舗石（花こう岩）	※ 80〜100 ・	※ うろこ張り	※ ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 ・ ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

15.砂利敷き

・ A種 ・ B種 (22.11.2)(22.11.3)

16.路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	塗布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・ 1種	常温	液状	※ 白	※ 150	※ 1.0	塗料総質量に対して5%以下
・ 2種	加熱					
※ 3種1号	溶融	粉体状				

23 植栽工事及び屋上緑化工事

1.樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適 用	有効土層の厚さ（cm）	工 法	整備範囲
※ 行う ・ 行わない	※ 20 ・	※ B種 ・	※ 植栽範囲 ・ 図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高	有効土層の厚さ（㎝）	工法	整備範囲
・ 12以上	※ 100 ・ 120 ・ 150	※ A種	・ 葉張りの範囲 ただし、低木は植栽範囲
・ 7以上〜12未満	※ 80 ・ 100	・ B種	
・ 3以上〜7未満	※ 60 ・ 80	・ C種	・ 図示
・ 3未満	※ 50	・ D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。
ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植え込み用土で盛土を行う。

2.植込み用土

※ 現場発生土の良質土 ・ 客 土（ ※ 畑土 ・ 黒土） (23.3.2)

3.土壌改良材

※ 適用する (23.2.3)(23.2.4)
施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示

バーク堆肥
有機物の含有量（乾物）：70%以上
炭素窒素比（C/N比） ：35以下
陽ｲｵﾝ交換容量（乾物） ：70meq/100g以上
pH ：5.5〜7.5
水分 ：55〜65%
幼植物試験の結果 ：生育阻害その他の異常を認めない
窒素全量（現物） ：0.5%以上
リン酸全量（現物） ：0.2%以上
アルカリ全量（現物） ：0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
有機物の含有量（乾物）：35%以上
炭素窒素比（C/N比） ：20以下
pH ：8.5以下
水分 ：50%以下
窒素全量（現物） ：0.8%以上
リン酸全量（現物） ：1.0%以上
アルカリ全量（現物） ：15%以下
（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）

4.支柱材

※ 杉、ひのき又はから松（皮はぎもの、間伐材） ※加圧式防腐処理 (23.3.2)
・ 真竹（良質な2年生以上）

5.幹巻き用材料

※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23.3.2)

6.芝張り

種類 ※ こうらい芝 ・ 野芝 (23.4.2)
工法 ・ 目地張り ・ べた張り

7.枯補償等

新植樹木の枯補償の期間 ※ 1年 ・ (23.3.4)
移植樹木の枯損処理の期間 ※ 1年 ・ (23.3.6)
芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 1年 ・ (23.4.7)(23.3.4)

8.屋上緑化

植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)
・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・ 図示 ・ 管理型
保水・排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ： ） ・ 板状成形品
植込み用土 ※ 改良土 ・ 人工軽量土
樹木の樹種、寸法、株立数、寸法等 ※ 図示 ・

・ 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示 ・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示 ・

工法 (23.5.4)
支柱 ・ 設置する （種類 ・ 図示 ・ ）
かん水装置 ・ 設置する （工事区分は図示による）

24 その他

①.工事現場の環境改善について

工事現場のイメージアップ
・ 仮囲い周辺の美化 ・

地域住民への情報提供
・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成

地域住民とのコミュニケーション
・ 現場見学会の開催 ・

住民に対する災害防止関係
・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 ・

②.不具合の確認

工事竣工後、12ヶ月に不具合の確認を行い、その結果を書面で 発注者 あて報告する。
（施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず施設管理者の立会いを要する。）

3.10年保証住宅

・ 住宅瑕疵担保履行法に基づく適用を受ける工事の為、請負者は保険加入、又は保険金の供託により資力確保措置を講じ、その内容を書面で提出する事とする。

備考

伝刀建築構造事務所
長野県大町市平 7610
TEL 0261-22-6950
〒398-0001 FAX 0261-22-4520
事務所登録 長野県知事登録（大町）F第89041号
一級建築士登録 （大臣）第173277号
構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号 伝刀修司

年月日 R.8.10

縮尺
A1 出力時： S=1：100
A3 出力時： S=1：200

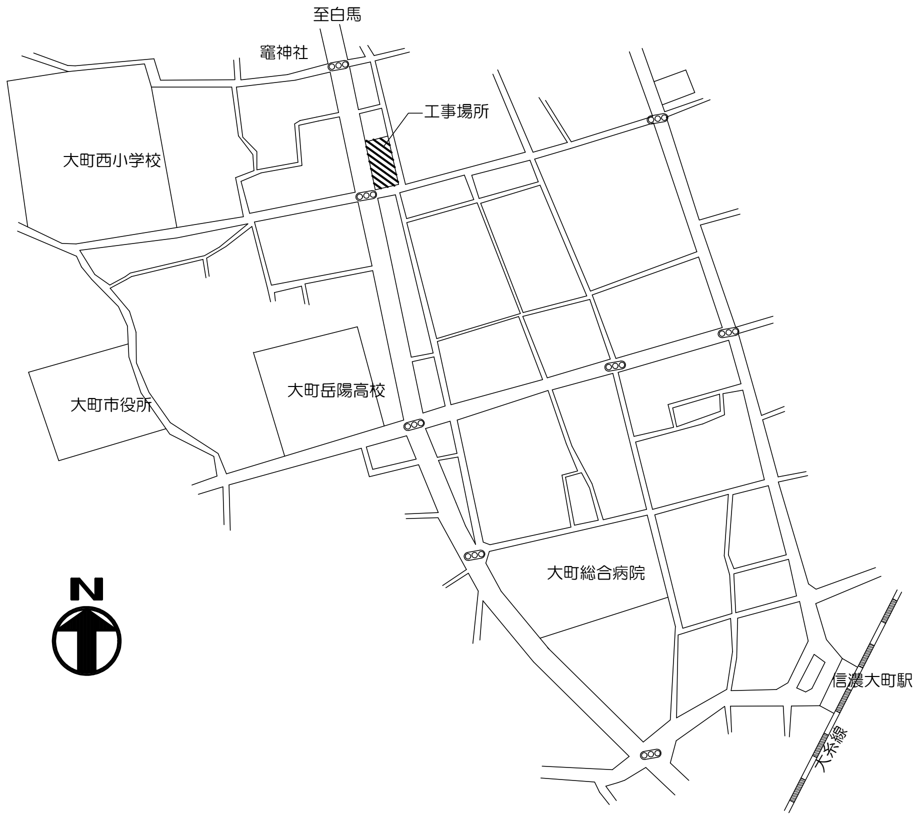
工事名称 令和８年度 大町消防署訓練塔塗装等修繕工事

図面名称 建築工事特記仕様書（4）

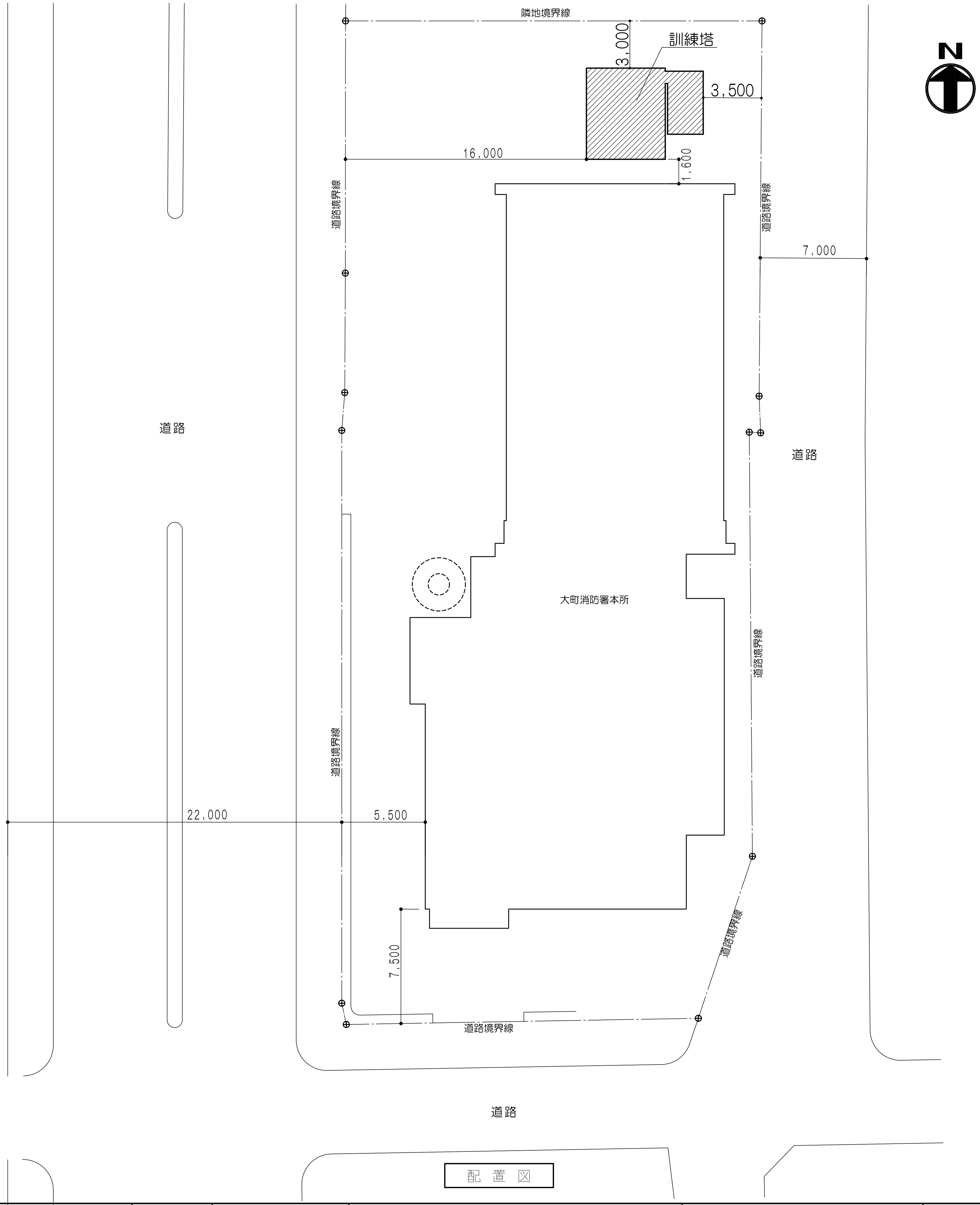
図面番号 No. A−4

建築概要

工事名称	令和８年度大町消防署訓練塔塗装等修繕工事		
工事場所	北アルプス広域消防本部・大町消防署　大町市大字大町４７２４－１		
工事種別	修繕工事		
主要用途	消防署　訓練塔		
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造２階＋鉄骨造４階　総階数６階建て		
敷地面積	１，７２６．０５㎡		
	訓練塔		合計
６階床面積	28.31㎡		28.31㎡
５階床面積	37.47㎡		37.47㎡
４階床面積	37.47㎡		37.47㎡
３階床面積	37.47㎡		37.47㎡
２階床面積	40.65㎡		40.65㎡
１階床面積	40.24㎡		40.24㎡
延べ面積	221.61㎡		221.61㎡

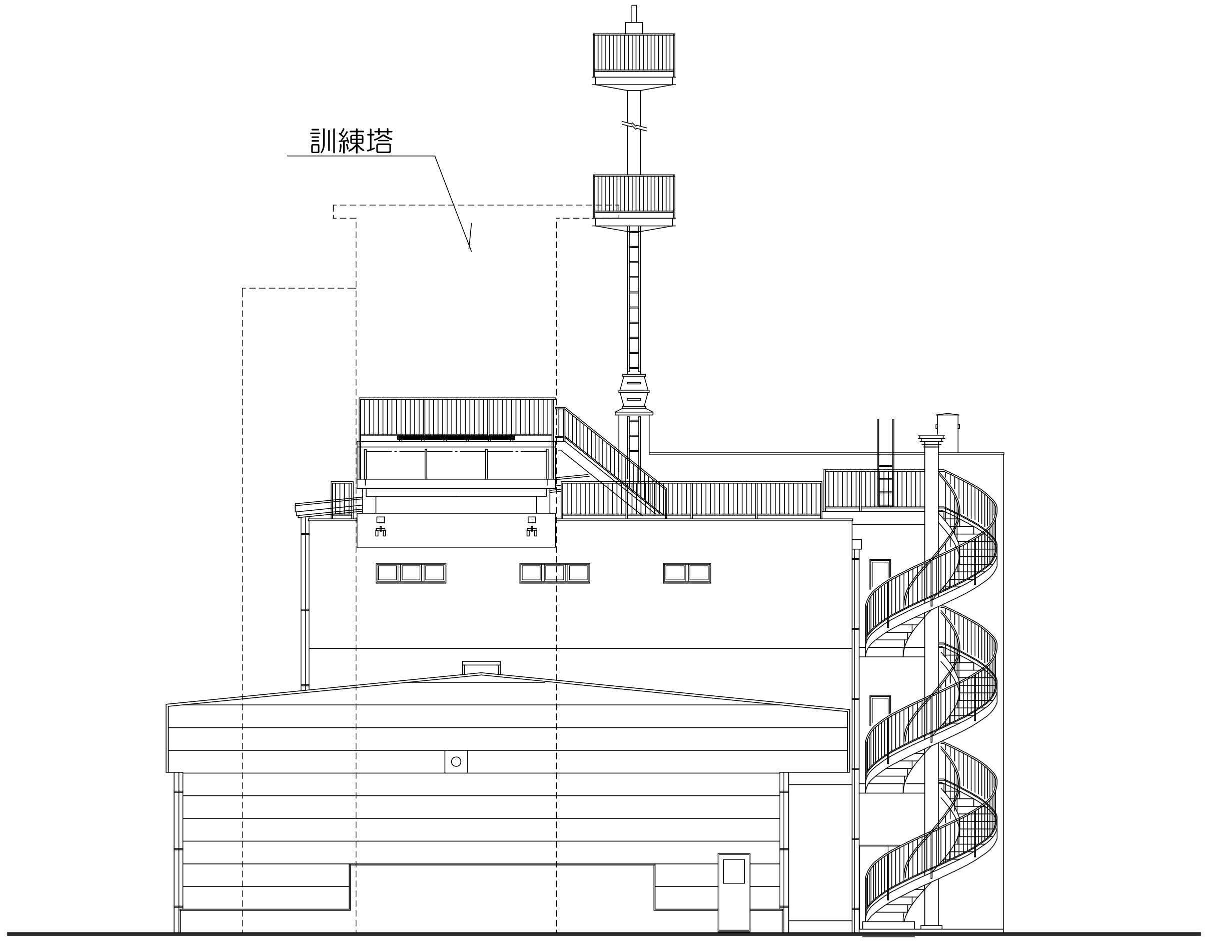

至白馬
竈神社
工事場所
大町西小学校
大町市役所
大町岳陽高校
大町総合病院
信濃大町駅
大糸線
N

案　内　図

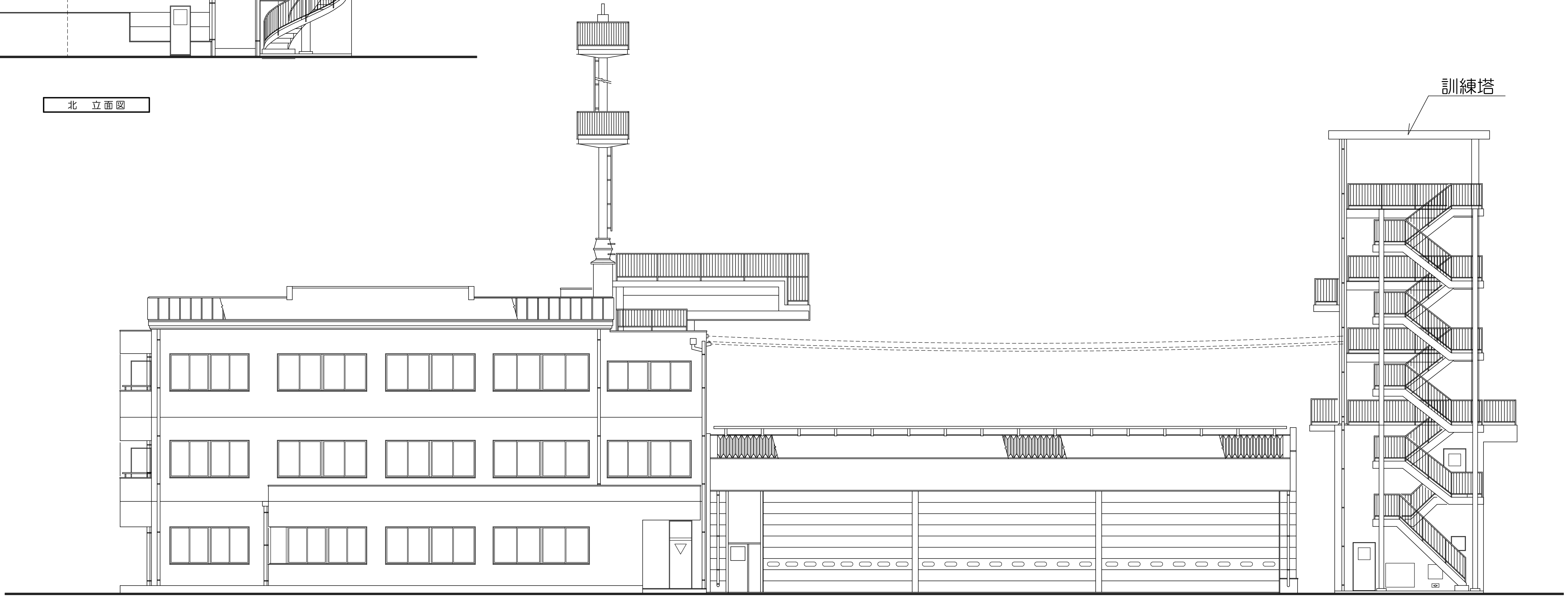

隣地境界線
訓練塔
3,000
3,500
N
16,000
1,600
道路境界線
7,000
道路
道路境界線
道路
大町消防署本所
道路境界線
道路境界線
22,000
5,500
7,500
道路境界線
道路境界線
道路

配　置　図

備考	伝　刀　建　築　構　造　事　務　所 長野県大町市平 7610 TEL 0261-22-6950 〒398-0001 FAX 0261-22-4520 事務所登録　長野県知事登録（大町）F第89041号 一級建築士登録（大臣）第173277号 構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 A1 出力時: S=1:150 A3 出力時: S=1:300	工事名称 令和８年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称 建築概要・案内図・配置図	図面番号 No. A - 5

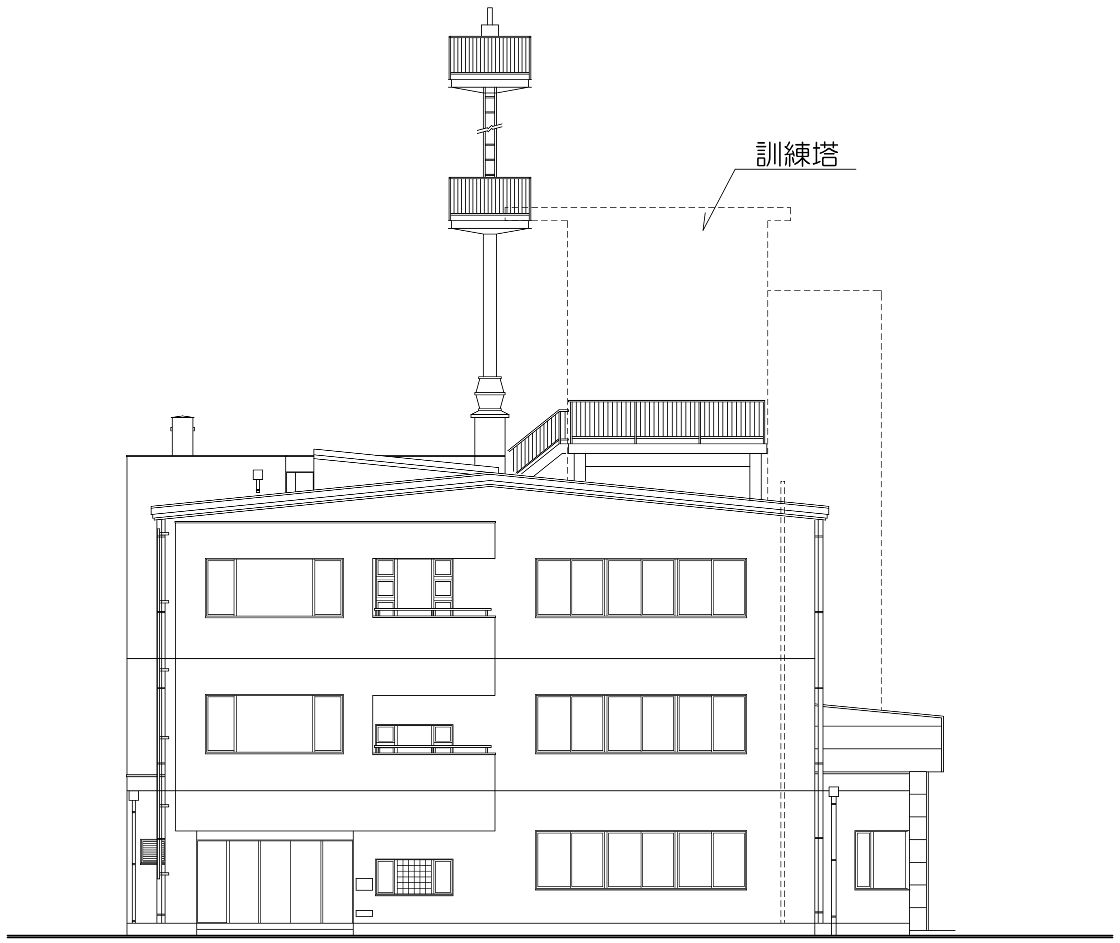


北　立面図

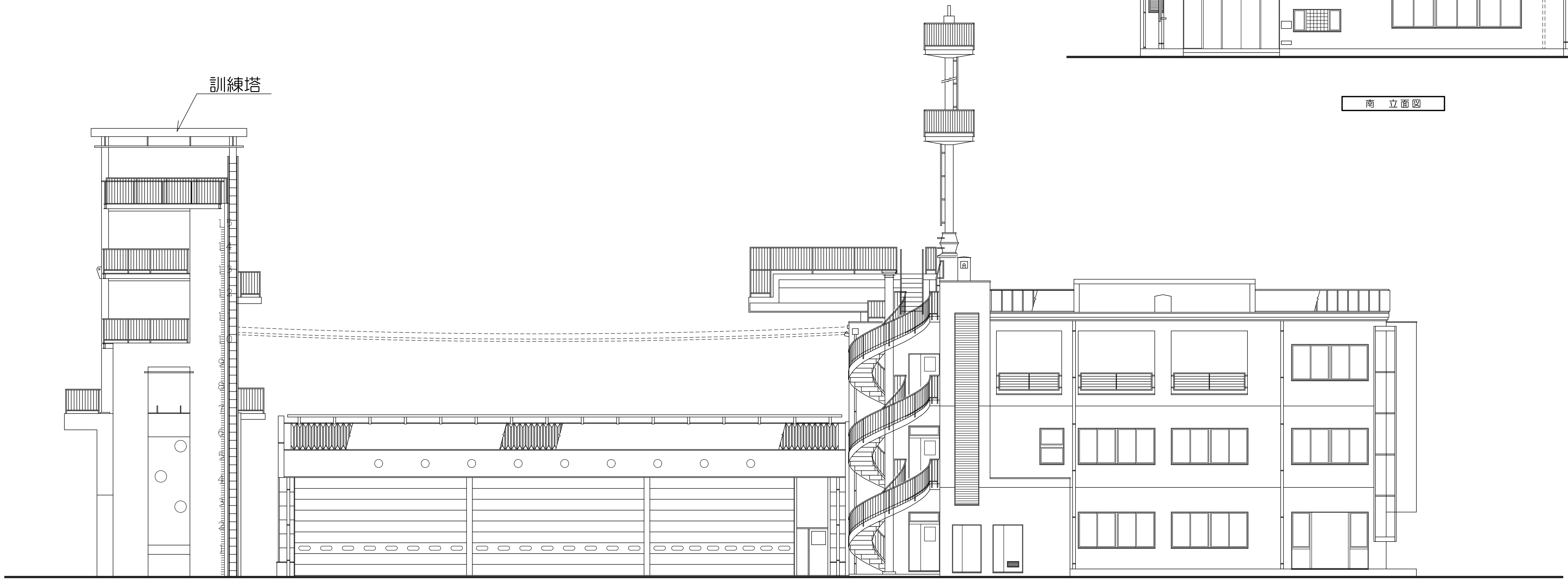


東　立面図

備考	**伝刀建築構造事務所** 長野県大町市平 7610 TEL 0261-22-6950 〒398-0001 FAX 0261-22-4520 事務所登録　長野県知事登録（大町）F第89041号 一級建築士登録（大臣）第173277号 構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 A1 出力時: S=1:100 A3 出力時: S=1:200	工事名称 令和8年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称 全体　立面図（1）	図面番号 No. A-6

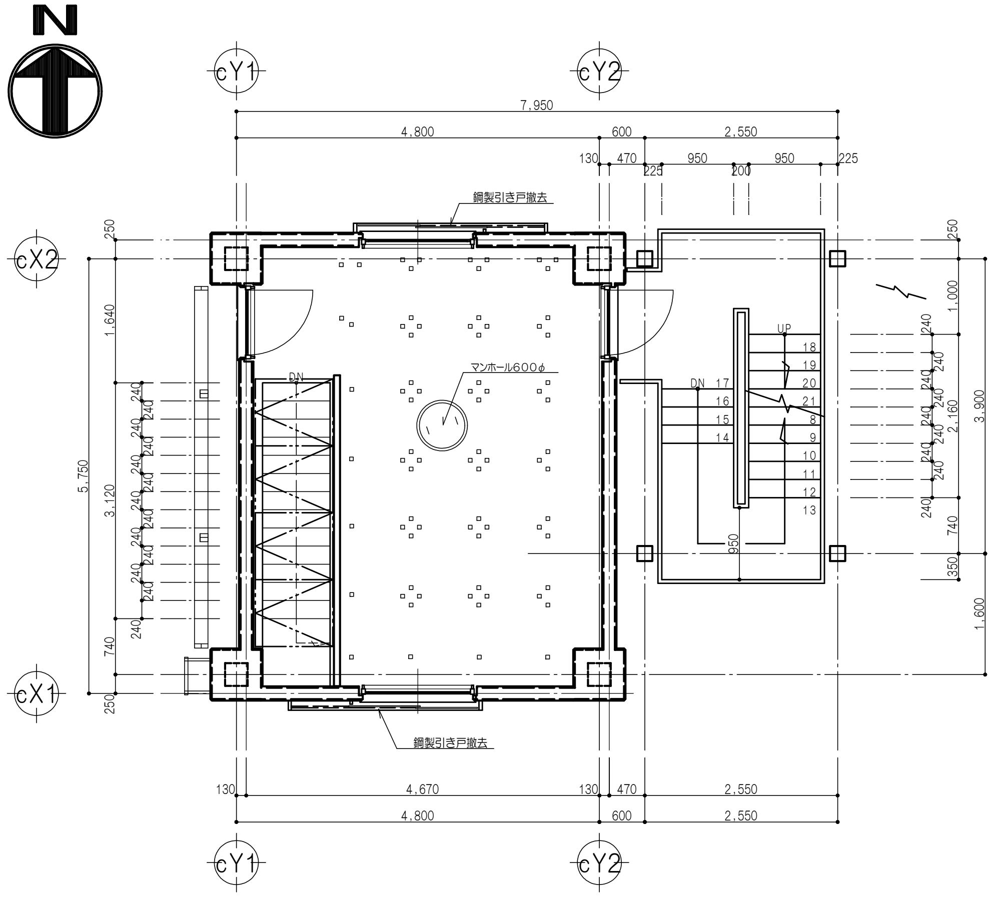


南　立面図

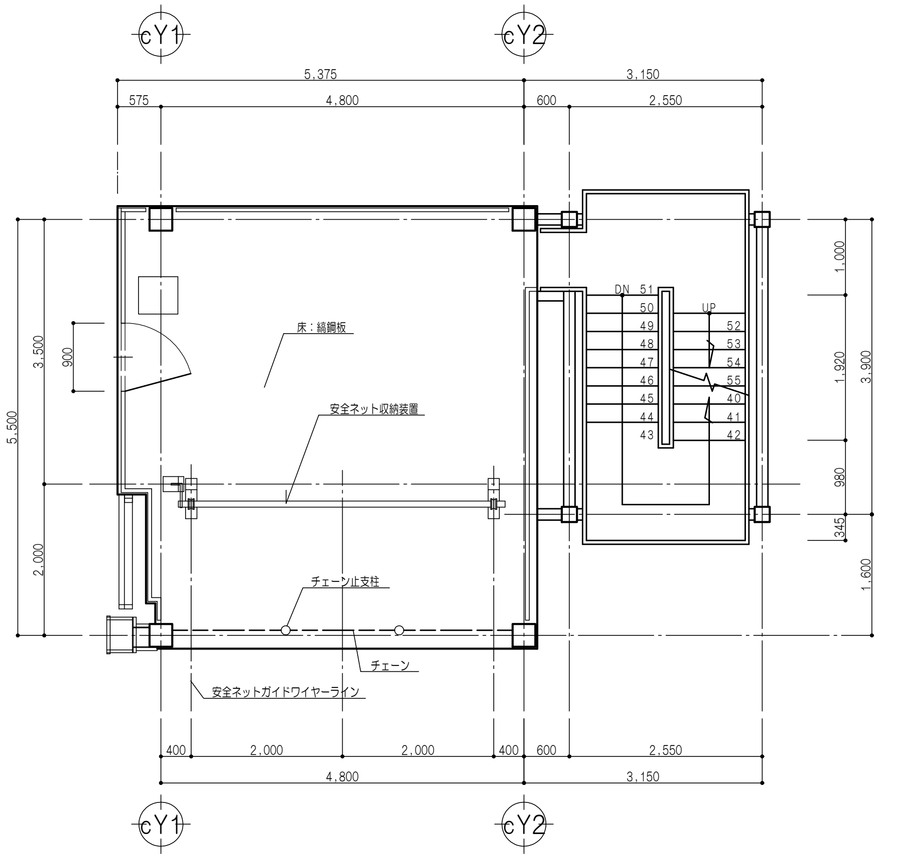


西　立面図

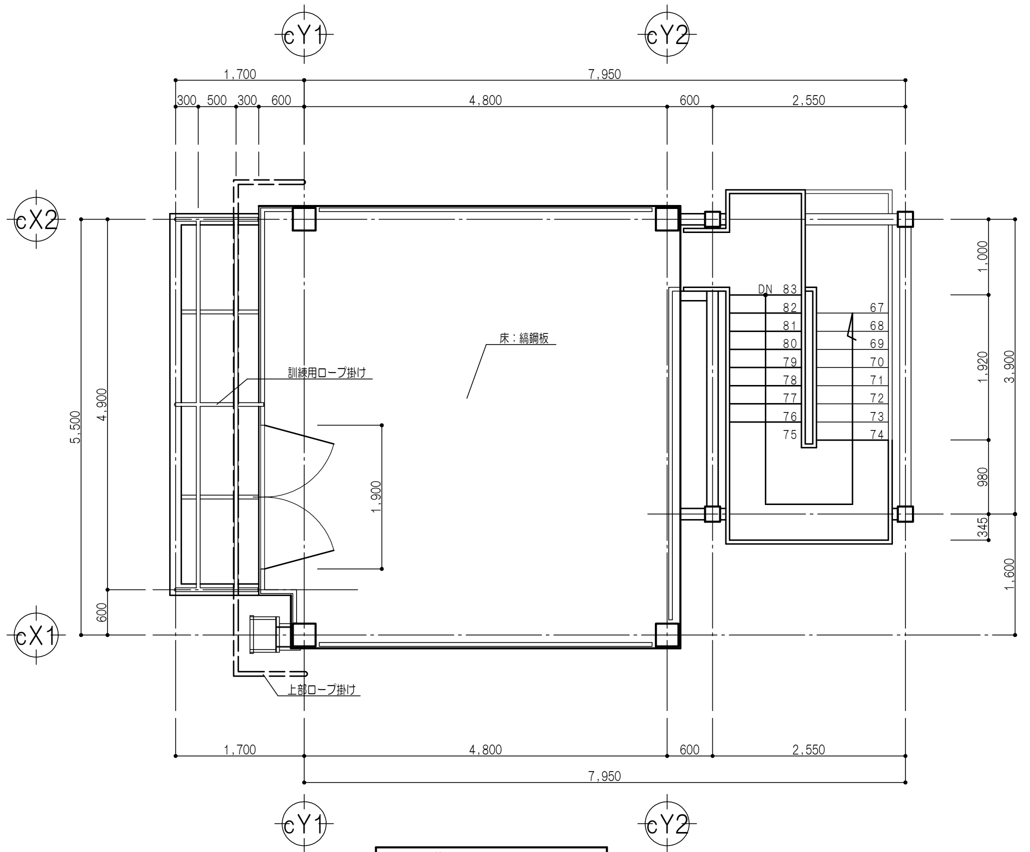
備考	**伝　刀　建　築　構　造　事　務　所** 長野県大町市平 7610 TEL 0261-22-6950 〒398-0001 FAX 0261-22-4520 事務所登録　長野県知事登録（大町）F第89041号 一級建築士登録（大臣）第173277号 構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 A1 出力時：S=1：100 A3 出力時：S=1：200	工事名称 令和8年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称 全体　立面図（2）	図面番号 No. A - 7


N
cY1
cY2
cX1
cX2
鋼製引き戸撤去
マンホール600φ
DN
UP
鋼製引き戸撤去
7,950
4,800
600
2,550
4,670

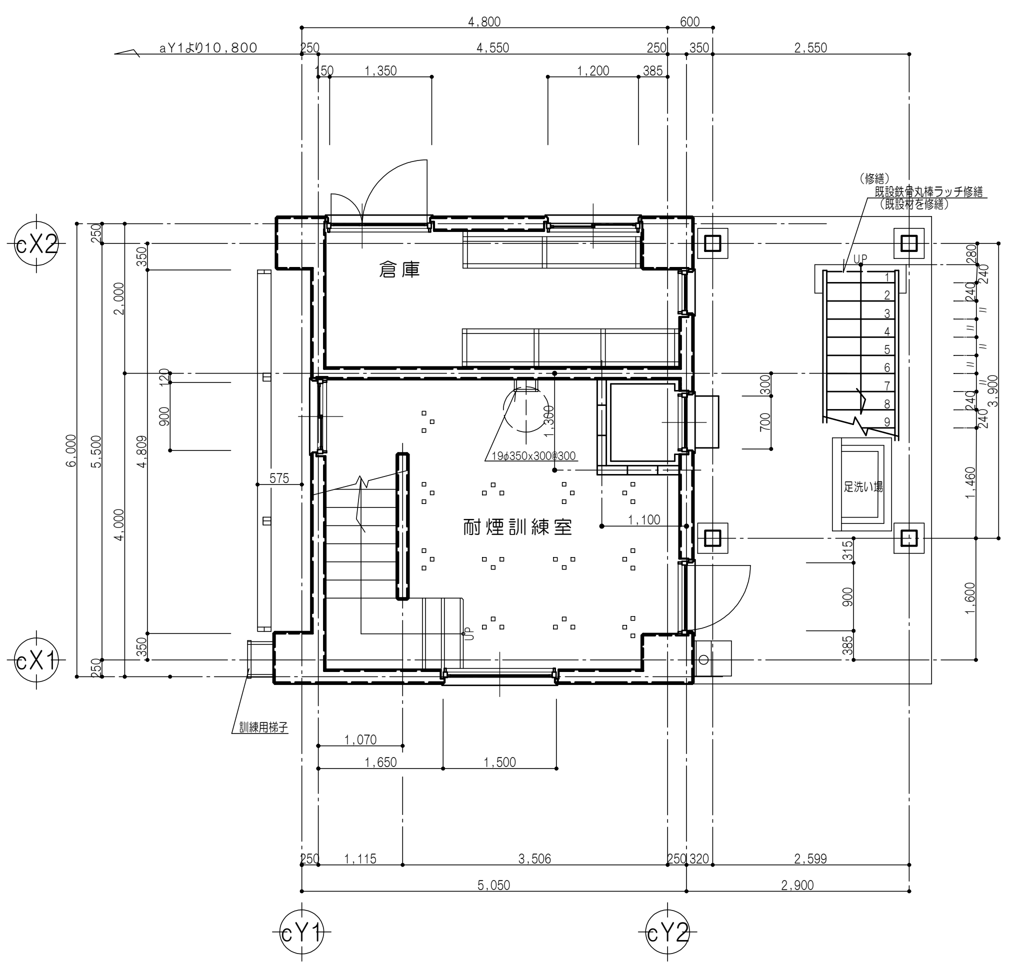
２階平面図 S=1:50


cY1
cY2
床：縞鋼板
安全ネット収納装置
チェーン止支柱
チェーン
安全ネットガイドワイヤーライン
DN
UP
5,375
3,150
4,800
600
2,550

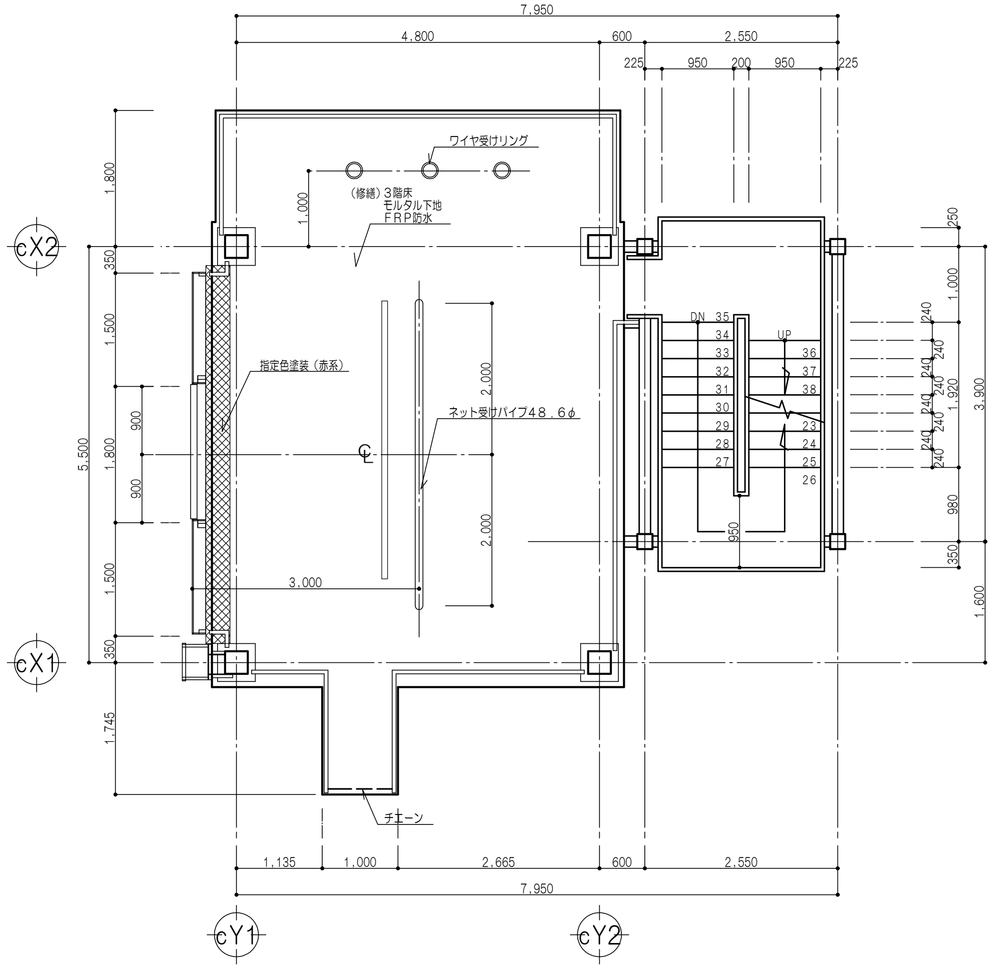
４階平面図 S=1:50


cY1
cY2
cX1
cX2
訓練用ロープ掛け
床：縞鋼板
上部ロープ掛け
DN
UP
1,700
7,950
4,800
600
2,550

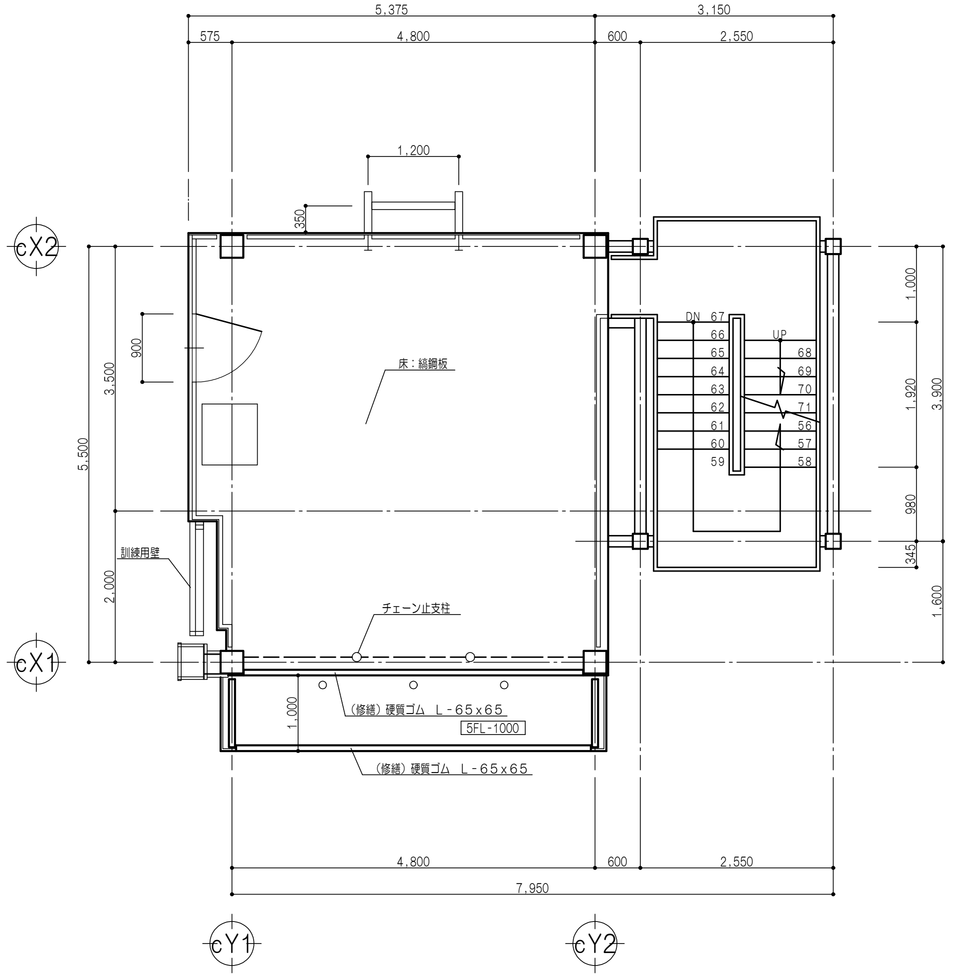
６階平面図 S=1:50


cY1
cY2
cX1
cX2
aY1より10,800
倉庫
耐煙訓練室
19φ350x300@300
（修繕）
既設鉄骨丸棒ラッチ修繕
（既設材を修繕）
足洗い場
訓練用梯子
UP
4,800
600
5,050
2,900

１階平面図 S=1:50


cY1
cY2
cX1
cX2
ワイヤ受けリング
（修繕）３階床
モルタル下地
ＦＲＰ防水
指定色塗装（赤系）
ネット受けパイプ４８．６φ
チエーン
DN
UP
7,950
4,800
600
2,550

３階平面図 S=1:50

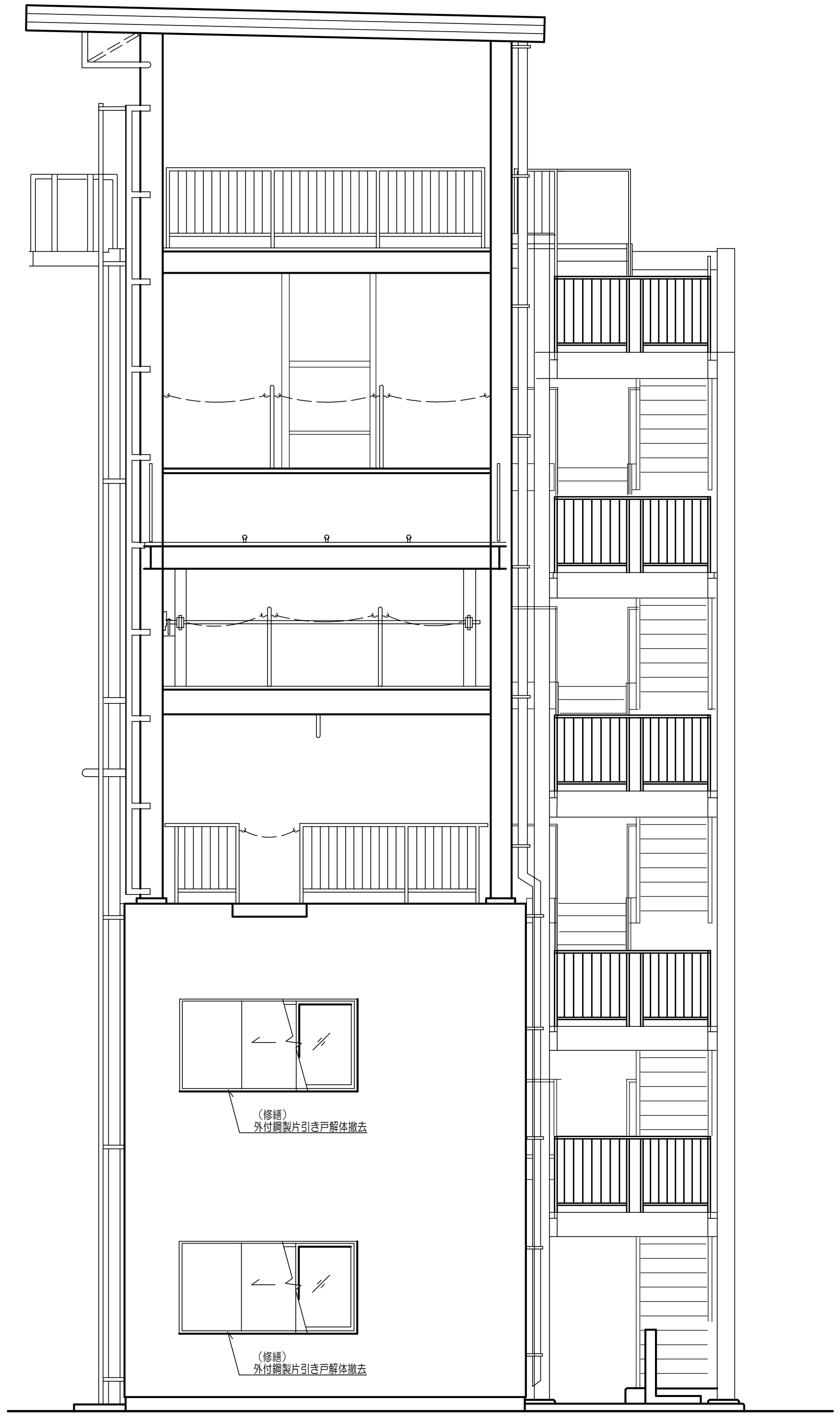

cY1
cY2
cX1
cX2
床：縞鋼板
訓練用壁
チェーン止支柱
（修繕）硬質ゴム L-65x65
5FL-1000
（修繕）硬質ゴム L-65x65
DN
UP
5,375
3,150
4,800
600
2,550
7,950

５階平面図 S=1:50

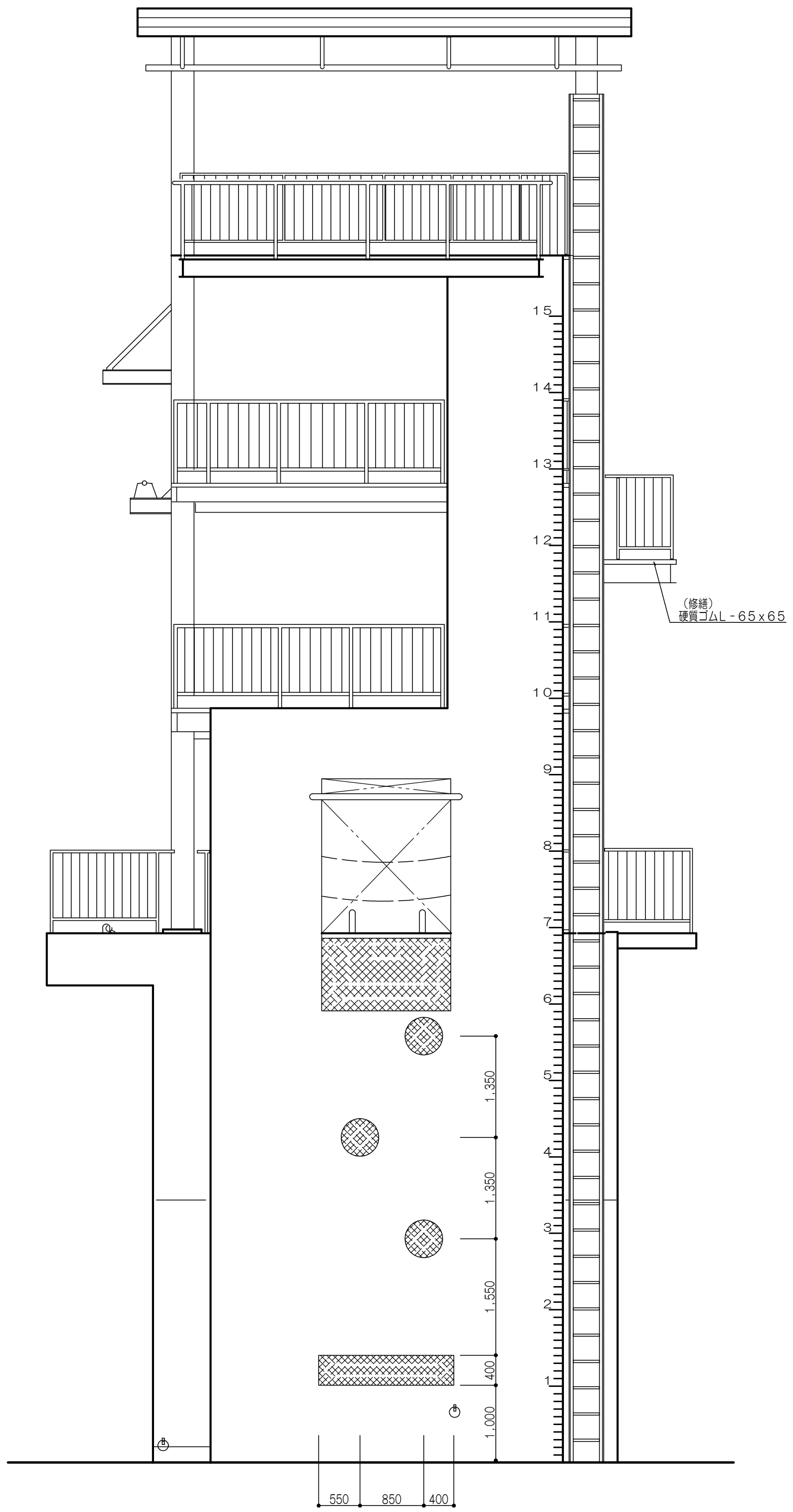
備考

伝　刀　建　築　構　造　事　務　所
長野県大町市平 7610
TEL 0261-22-6950
〒398-0001 FAX 0261-22-4520
事務所登録　長野県知事登録（大町）F第89041号
一級建築士登録（大臣）第173277号
構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号 伝刀修司

年月日	縮尺	工事名称	図面名称	図面番号
R.8.10	A1 出力時：S=1:50 A3 出力時：S=1:100	令和８年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	１階～６階平面図	No. A－8



南立面図　S=1:50



西立面図　S=1:50

既設建物訓練塔仕上げ表

（外部）

屋根	長尺カラー鉄板ァ0．6　山高88　折板葺、タイトフレーム、水止面戸、化粧破風
	雪止メアングル　L－50×50×6
軒樋	カラー鉄板ァ0．6
竪樋	SGP（W）　100φ　受金物　FB加工　F．P
外壁	RC部　打放シ補修の上　吹付タイル吹付
建具	アルミ製建具＋鋼製建具（乙種防火戸）
2F屋上（3F床）	モルタル金ゴテの上超軟質ポリエステル樹脂　ライミング防水トップコート（R－Σ工法）
	展張ワイヤー取り付けリング、ステンレス製180φ　線径16　H／M　躯体アンカー
訓練用床塗装	ネット受パイプ　ロープ受用パイプ　安全用鎖　コーナー硬質ゴム取付
鉄部	特殊塗装　ショットブラスト
（鉄部は全て共通）	エッチングプライマー　JIS　5633　1種
	油性サビ止メ　JIS　5622－25（2回）
	橋梁用マリンペイント　中塗　1回
	上塗　2回
屋外階段	スチール製　特殊塗装　手スリ　鋼製
	床　縞鋼板　進入止メ用クサリ（錠付）
4F	床　縞鋼板
	安全ネット収納装置　（ワイヤー等一式）
	（ネット取付共）
	さしこみ式安全手スリ（クサリ付）
	緩降機（オートエーヌB－30同等以上）　（床面に固定）
5F	床　縞鋼板　訓練用床塗装（指定色）
	さしこみ式安全手スリ（クサリ付）
	コーナー硬質ゴム取付
	訓練用はね出し　ロープ固定用リング　ステンレス製
	救助袋　クレー005号同等以上　ロープ展張用ガイド　かっ車臥け
6F	床　縞鋼板
	訓練用ロープ掛け　（訓練壁用）　（訓練O3用）
訓練壁	縞鋼板製　一部訓練用塗装　高度目盛書き込み
	訓練用ロープ掛け　3F部分　ステンレス製リング180φ　16φ取付
競技用梯子	競技用梯子　（関東足後同等以上）　受金物共
	鉄骨部分　裏面スベリ止メ用板
その他	外部床面にロープ固定用ステンレス製リング　180φ　16φ
	地中埋設　鋳鉄製蓋付　舗装面に訓練用塗装　パイプ埋込ミ
	足洗場

（内部）

1F　倉庫	床　モルタル金ゴテ仕上　防ジン塗床
	巾木　モルタル金ゴテ仕上
	天井　スラブ表ワシ
	棚　ロープ掛け用フック　ステンレス製　5ヶ所
耐煙訓練室	床　モルタル金ゴテ仕上（水勾配）
	壁　コンクリート打枚シ
	天井　スラブ表ワシ
	ステンレスタラップ　排水D（設備工事）　訓練用O仕切
火タキ場	CB積＋耐火レンガ積
	火棚　灰出口　たきこみ口　鉄製蓋
2F　耐煙訓練室	床　モルタル金ゴテ下地　超軟質ポリエステル樹脂　ライニング防水トップコート（R－31法）　立上り共
	壁　コンクリート打放シ
	天井　スラブ表ワシ
	鋳鉄製マンホール蓋　排水溝（設備工事）　スチール製手スリ　階段ふた（合板製）
	訓練用O仕切

令和8年度　大町消防署　訓練塔塗装等　修繕工事　項目

塗装工事	1階・2階コンクリート部分：吹き付けタイル、外部鉄骨部分：下地処理の上塗装
建具工事	1階：親子扉（SD2）取り換え、2階：片開き扉（SD3）取り換え、鋼製片引き戸（SW1）解体
	2階：内付けアルミパネル引き違い戸取付（南面SW1）
防水工事	3階床：FRP防水　一部指定色着色有り
左官工事	建具廻り詰めモルタル、3階鉄骨柱脚モルタル巾木金鏝仕上げ
修繕その他工事	鉄骨階段入口丸棒貫抜錠修繕、4階南面硬質ゴム修繕

備考

伝刀建築構造事務所
長野県大町市平7610
TEL 0261-22-6950
〒398-0001 FAX 0261-22-4520
事務所登録　長野県知事登録（大町）F第89041号
一級建築士登録（大臣）第173277号
構造設計一級建築士登録（大臣）第5118号　伝刀修司

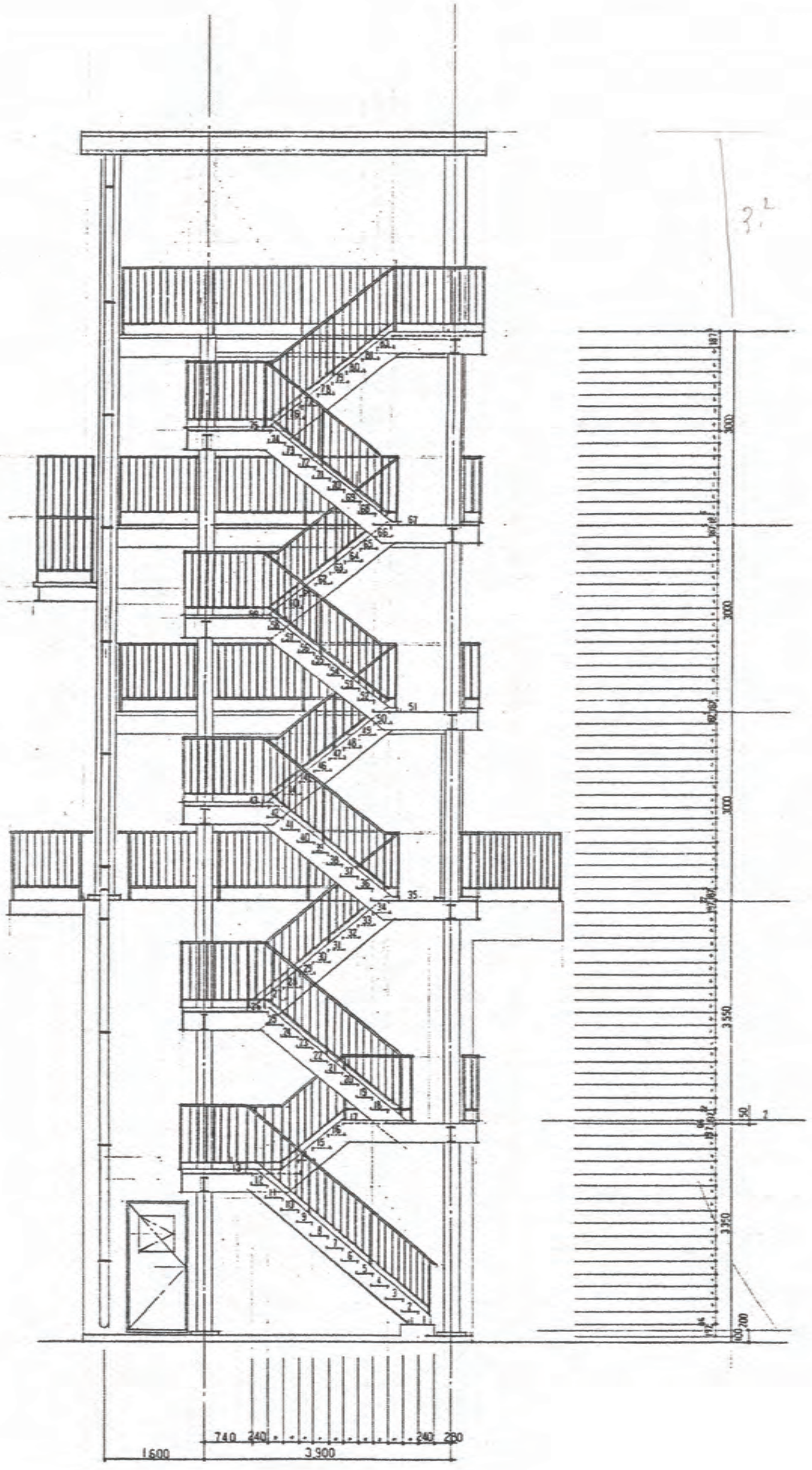
年月日
R.8.10

縮尺
A1 出力時：S=1:50
A3 出力時：S=1:100

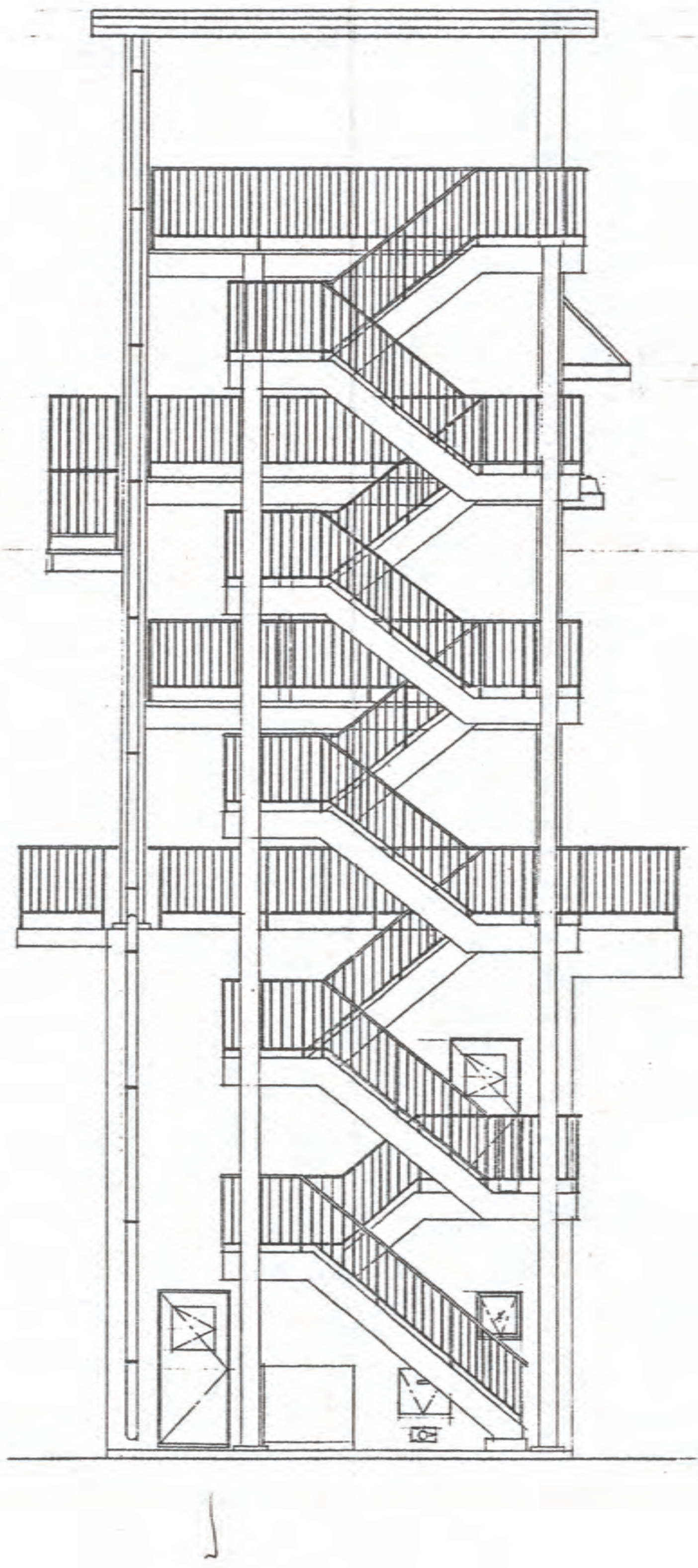
工事名称
令和8年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事

図面名称
南・西立面図　仕上げ表

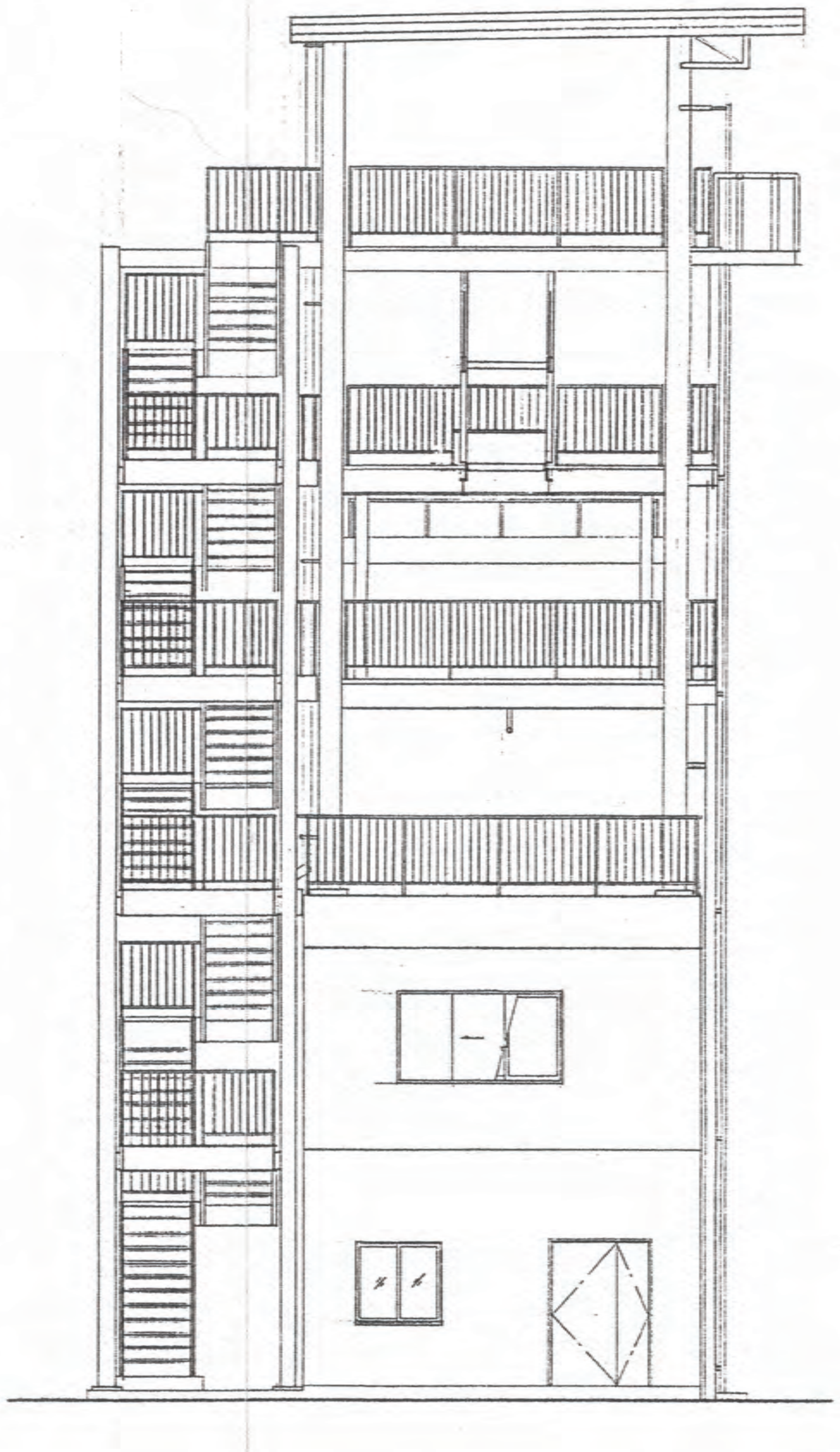
図面番号
No. A－9


3.2
3000
3000
3000
3350
50
3350
200
100
740
240
240
280
1600
3,900

階段詳細図

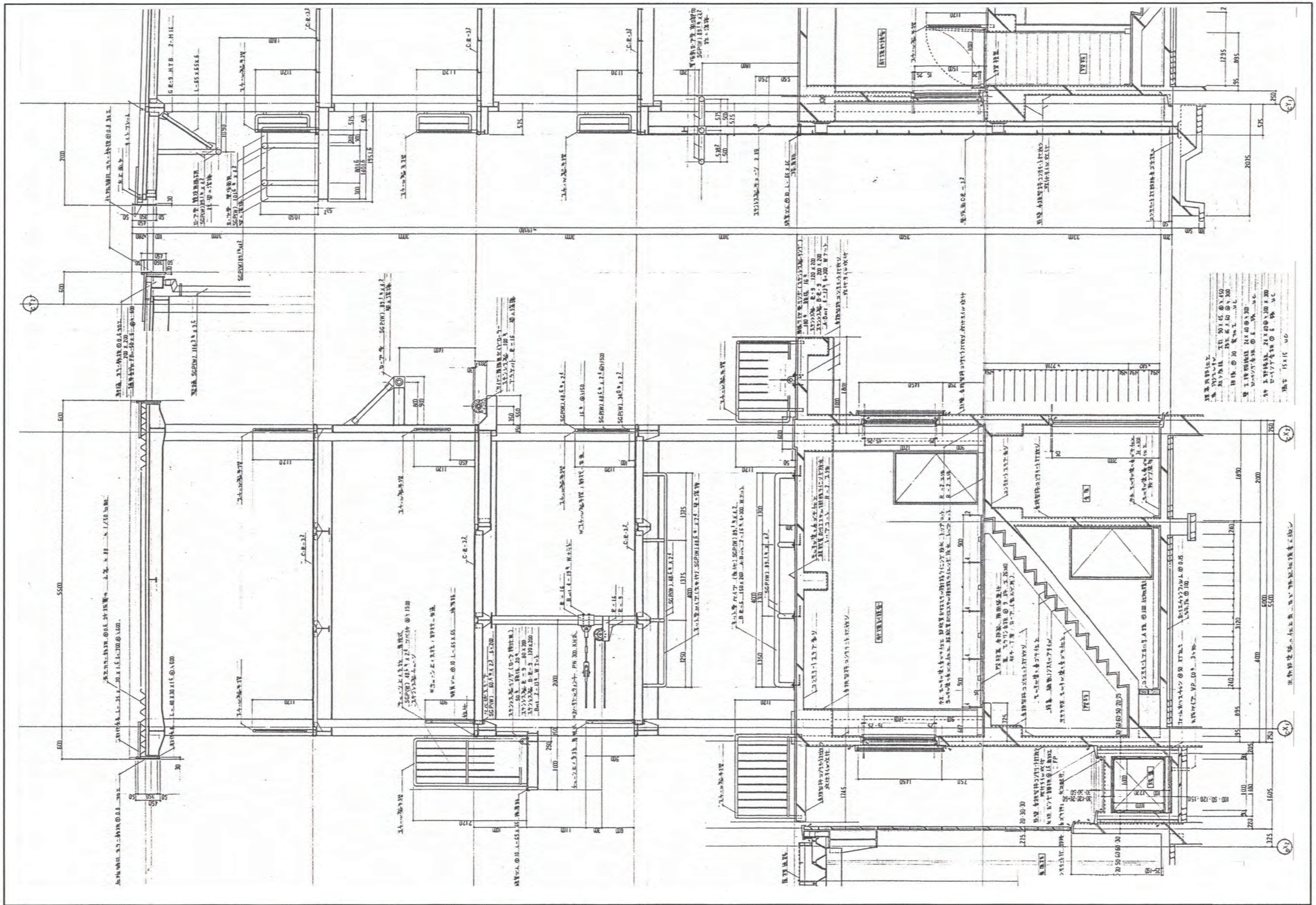


東立面図



北立面図

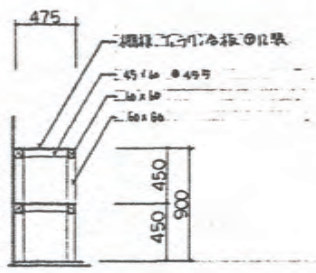
備考	**伝 刀 建 築 構 造 事 務 所** 一級建築士登録（大臣）第173277号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 A3 出力時：S=1:100	工事名称 令和8年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称（既設図面参考図） 階段断面・東立面図・北立面図	図面番号 No. A-10



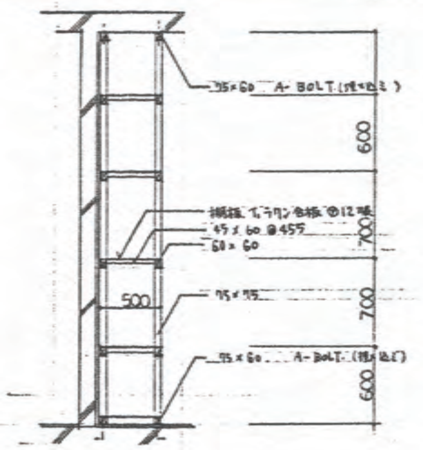
CY1
CX2
CX1
CY2

備考	伝　刀　建　築　構　造　事　務　所 一級建築士登録（大臣）第173277号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 S=1:60	工事名称 令和8年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称 （既設図面参考図） 断面詳細図	図面番号 No. A-11

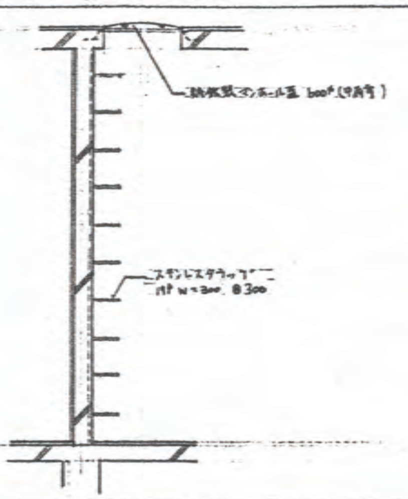
倉庫 棚1. 詳細図 1:30


475
棚板 ラワン合板 ⑫12張
45×60 @455
60×60
60×60
450
450
900

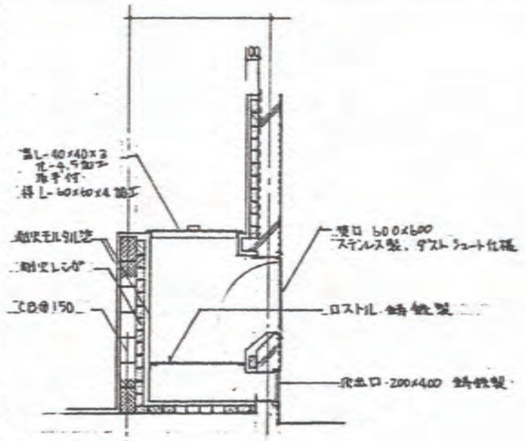
倉庫 棚2. 詳細図. 1:30


75×60 A-BOLT (埋込ミ)
600
棚板 ラワン合板 ⑫12張
45×60 @455
60×60
700
500
75×75
700
75×60 A-BOLT (埋込ミ)
600

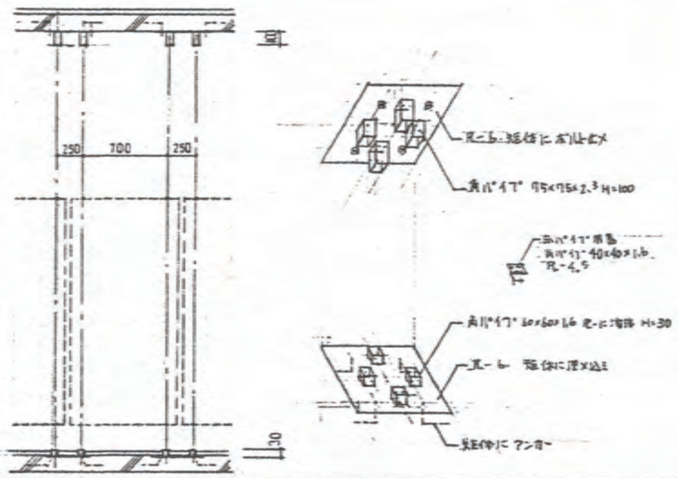
タラップ 部分. 詳細図. 1:30


鋳鉄製マンホール蓋 600φ (中蓋有)
ステンレスタラップ
19φ w=300 @300

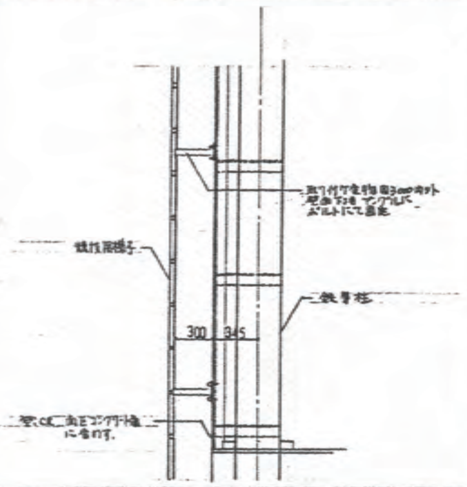
火焚き場 詳細図 1:30


100
蓋L-40×40×3
PL-4.5加工
取手付
枠L-60×60×4 加工
耐火モルタル塗
耐火レンガ
CB@150
焚口 600×600
ステンレス製、ダストシュート仕様
ロストル 鋳鉄製
灰出口 200×400 鋳鉄製

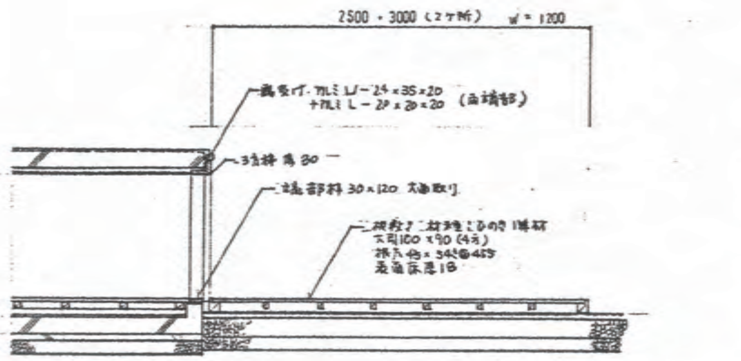
訓練用間仕切下地 詳細図 詳細は平面図に依る 1:30 1:20


250
700
250
30
PL-6 躯体にボルト止メ
角パイプ 75×75×2.3 H=100
角パイプ 吊金
角パイプ 40×40×1.6
PL-4.5
角パイプ 60×60×1.6 PL-に溶接 H=30
PL-6 躯体に埋込ミ
躯体にアンカー

競技用梯子・壁面詳細図 1:30

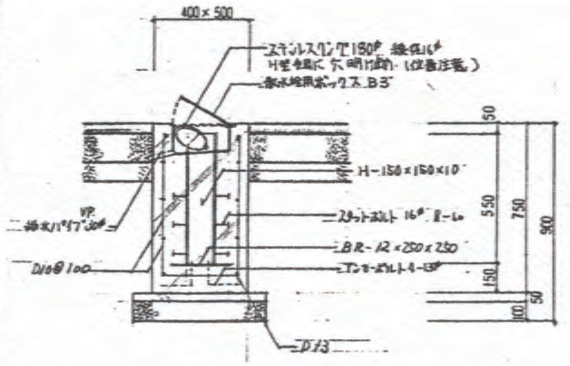

取付ケ金物 @300 ヵット 壁面下地 アングルに ボルトにて固定
競技用梯子
鉄骨柱
300
345
既設コンクリート面に合わす.

煙導端部及び訓練用板詳細図 1:30

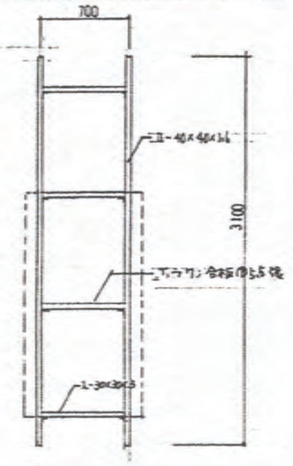

2500・3000 (2ヶ所) w=1200
見切り アルミ LJ-24×35×20
+アルミ L-29×20×20 (両端部)
3方枠 高30
端部材 30×120 大面取り
根太 材種とるの類 構材
大引100×90 (4方)
根太 45×54 @455
表面床板 18

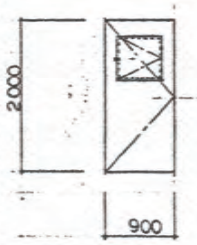
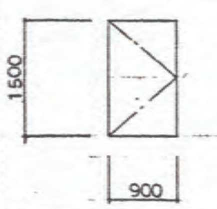
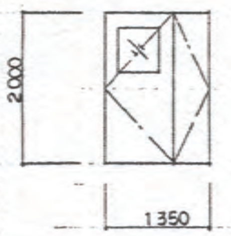
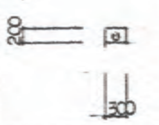
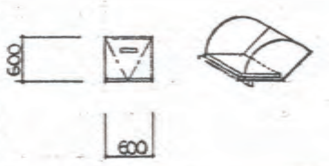
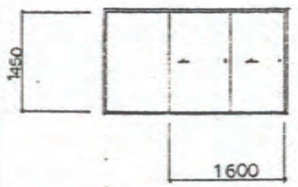
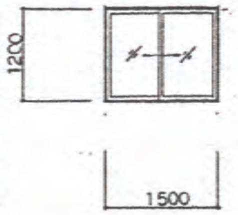
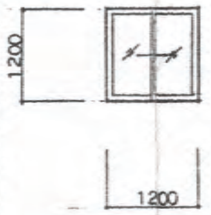
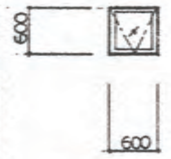
※上記仕様 種(2500×1200, 3000×1200)以外に1800×900を設ける.

地中埋込式リング詳細図 1:20


400×500
ステンレスリング 180φ 線径16φ
H型鋼に穴明け溶接 (位置注意)
排水桝用ボックス B3
50
H-150×150×10
550
750
900
VP
排水パイプ 30φ
スタッドボルト 16φ L=60
BR-12×250×250
アンカーボルト 4-13φ
D10@100
150
100
50
D13

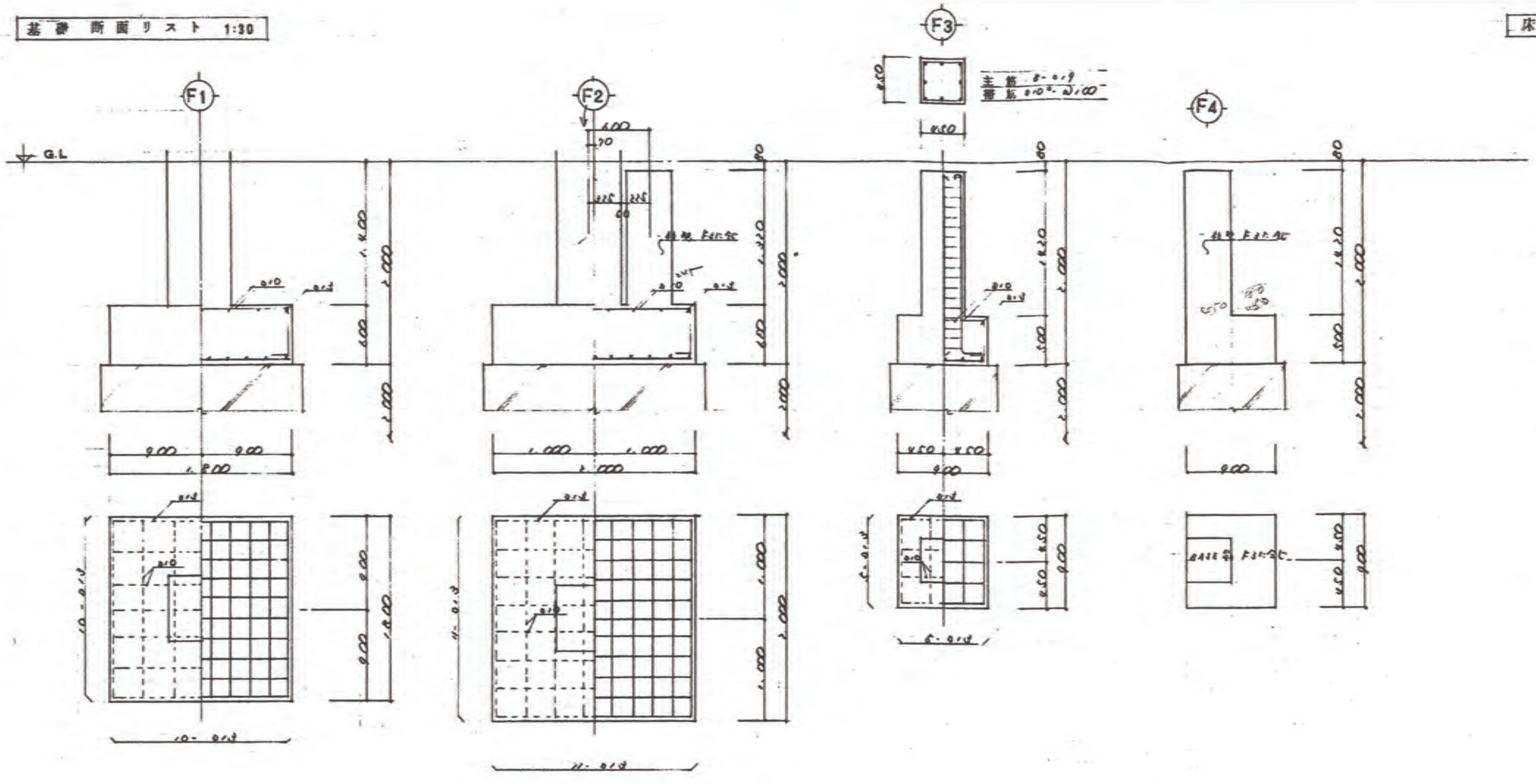
訓練用間仕切 詳細図 数量 12ヶ 1:30


700
□-40×40×1.6
3100
ラワン合板 ⑦5.5張
L-30×30×3

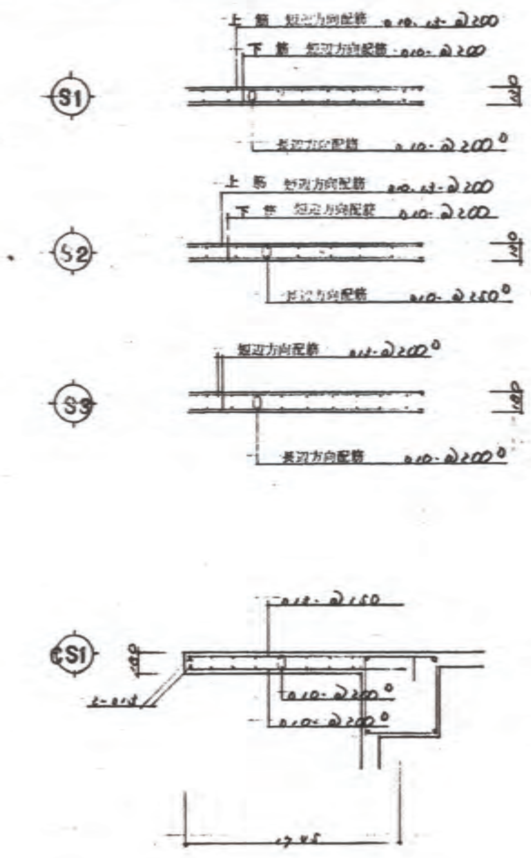
記号 場所	SD-1 耐煙訓練室 [illegible]	SD-2 耐煙訓練室 [illegible]	SD-3 倉庫	SD-4 灰出口	SSP-1 焚き口	SW-1 耐煙訓練室 [illegible]	AW-1 耐煙訓練室 [illegible]	AW-2 倉庫	AW-3 倉庫
見込 数量	86m/m 2ヶ所	86m/m 2ヶ所	86m/m 1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	100m/m 3ヶ所	70m/m 3ヶ所	70m/m 1ヶ所	70m/m 1ヶ所
型式 寸法	 2000 900	 1500 900	 2000 1350	 200 300	 600 600	 1450 1600	 1200 1500	 1200 1200	 600 600
種別	開閉式小窓付.片開き戸	片開き戸	額付親子扉	換気装置 片開き戸	ダストシュート	暗転用 雨戸	引違い窓	⊿	内倒し窓
材料 仕上	ボンデ処理 鋼板フタル酸マリンペイント	⊿	⊿	鋼製	ステンレス 厚10m/m	ボンデ処理鋼板 マリンペイント	アルミ、アルマイト処理	⊿	⊿
硝子	網入透明硝子 厚6.8m/m	—	網入型板硝子 厚6.8m/m	—	—	—	網入透明硝子 厚6.8	網入型板硝子 厚6.8	⊿
金物	丁番,シリンダー錠,[illegible],D.C.握玉	丁番・シリンダー錠,握玉	丁番,フランス落し シリンダー錠 D.C. 握玉.	丁番,差込錠,換気装置	引手,丁番, 付属金物一式	引手,戸車.	クレセント,戸車,水切	クレセント,戸車, 水切	丁番,ラッチ錠
備考	小窓網戸 [illegible]	—	—	(灰出口に付く既製品)[illegible]					

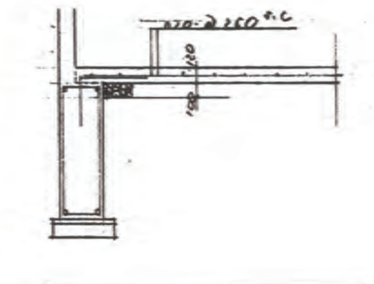
備考	伝刀建築構造事務所 一級建築士登録 (大臣) 第173277号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 S=1:60 S=1:100	工事名称 令和8年度 大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称 (既設図面参考図) 部分詳細図・建具表	図面番号 No. A-12

基礎断面リスト　1:30


F1
F2
F3
F4
G.L
主筋 8-D19
帯筋 D10°-@100
450
1,400
2,000
600
1,000
900
900
1,800
1,000
1,000
2,000
1,820
500
450
450
900
10-D13
11-D13
6-D13

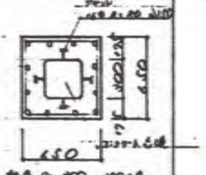
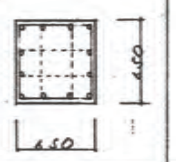
床版断面リスト　1:30


S1
上筋 短辺方向配筋 D10、13-@200
下筋 短辺方向配筋 D10-@200
長辺方向配筋 D10-@200°
S2
上筋 短辺方向配筋 D10、13-@200
下筋 短辺方向配筋 D10-@200
長辺方向配筋 D10-@250°
S3
短辺方向配筋 D13-@200°
長辺方向配筋 D10-@200°
CS1
D10-@150
D10-@200°
D10-@200°
2-D13
745



土間コンクリート　配筋図　1:30

柱断面リスト　1:30

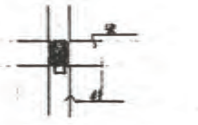
	C1	
2階	 鉄骨 ロ-300×300×9	
主筋	12-D22	
帯筋	D13°-@100	
1階		
主筋	12-D22	
帯筋	D13°-@100	

特記なき限り下記による

1. 帯筋　スパイラル筋とする
　ただし柱頭は D13°-@150（溶接帯筋）とする。

2. 割裂筋　D10-@600　（1階のみ）

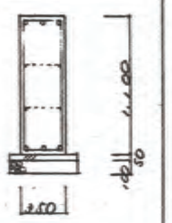
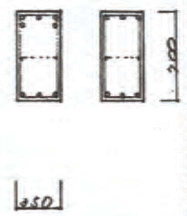
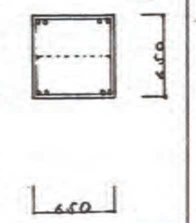
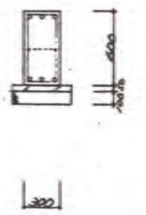
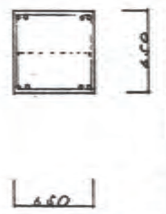
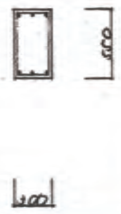
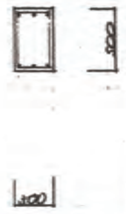
3. 柱仕口内表示



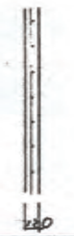
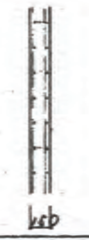
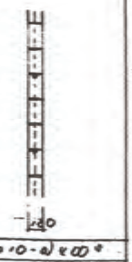
▬ 仕口内とする。

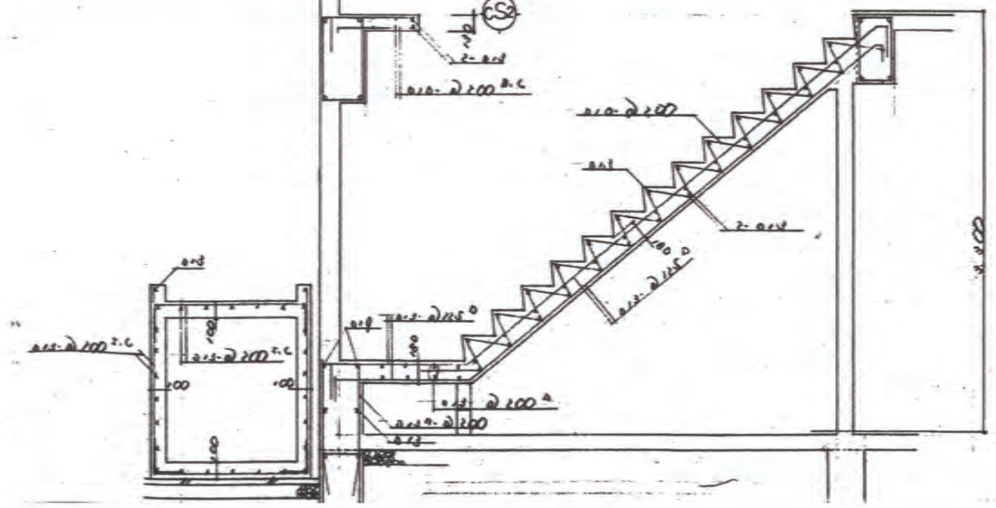
梁断面リスト　1:30

特記なき限り下記による
腹筋 2-D10　幅止め筋 D10-@1,000

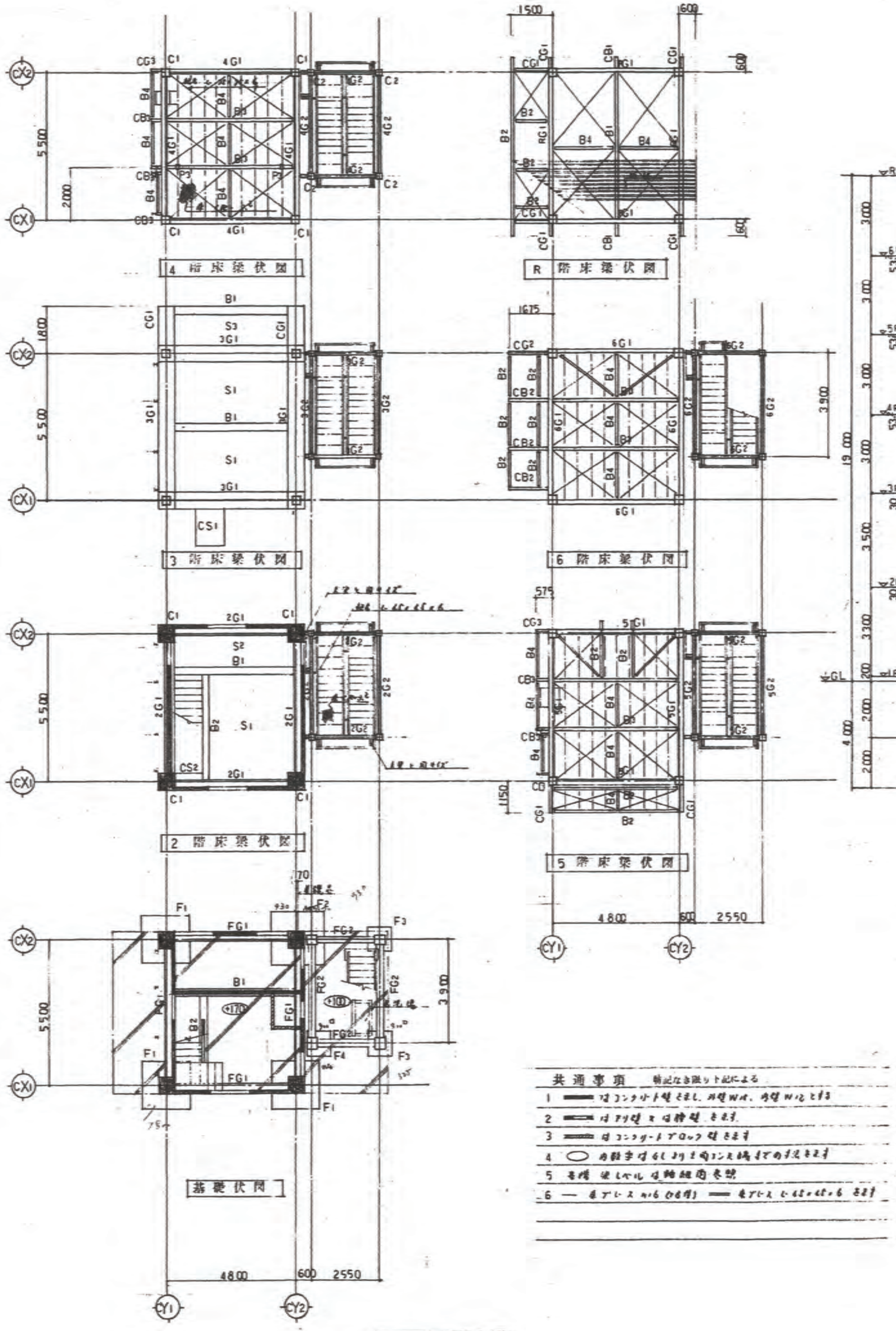
	FG1	2G1	3G1	FG2	CG1		B1	B2		
	全断面	端部　中央	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		
断面										
上筋	4-D22	5-D22　3-D22	4-D22	3-D19	4-D22		3-D19	3-D19		
下筋	4-D22	3-D22　3-D22	4-D22	3-D19	4-D22		3-D19	3-D19		
肋筋	D10°-@200	D10°-@100	D10°-@100	D10°-@200	D10°-@100		D10°-@200	D10°-@200		
備考										

壁断面リスト　1:30

		W12	W15		CB
断面					
配筋	タテ筋	D10-@200°	D10-@200°		D10-@400°
	ヨコ筋	D10-@200°	D10-@200°		D10-@600°
	幅止め筋		D10-@1,000		
開口部補強筋	タテ筋	1-D13	2-D13		
	ヨコ筋	1-D13	2-D13		配筋標準図参照
	斜筋	1-D13			


CS2
2-D13
D10-@200 D.C
D10-@200
D10-@200°
D10-@150°
D10-@200°
2-D13

備考	伝刀建築構造事務所 一級建築士登録（大臣）第173277号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 A3 出力時：S=1:60	工事名称 令和8年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称（既設図面参考図） 基礎詳細図	図面番号 No. S - 1


CX2
CX1
CY1
CY2
5,500
2,000
1,800
3,900
1,500
600
1,675
575
1,150
4,800
2,550
4G1
CG3
C1
C2
B4
CB3
4G2
P3
RG1
CG1
B2
CB1
S3
3G1
3G2
S1
B1
CS1
CG2
6G1
CB2
6G2
S2
2G1
2G2
CS2
5G1
5G2
F1
F2
F3
F4
FG1
FG2
100
170

4 階床梁伏図

R 階床梁伏図

3 階床梁伏図

6 階床梁伏図

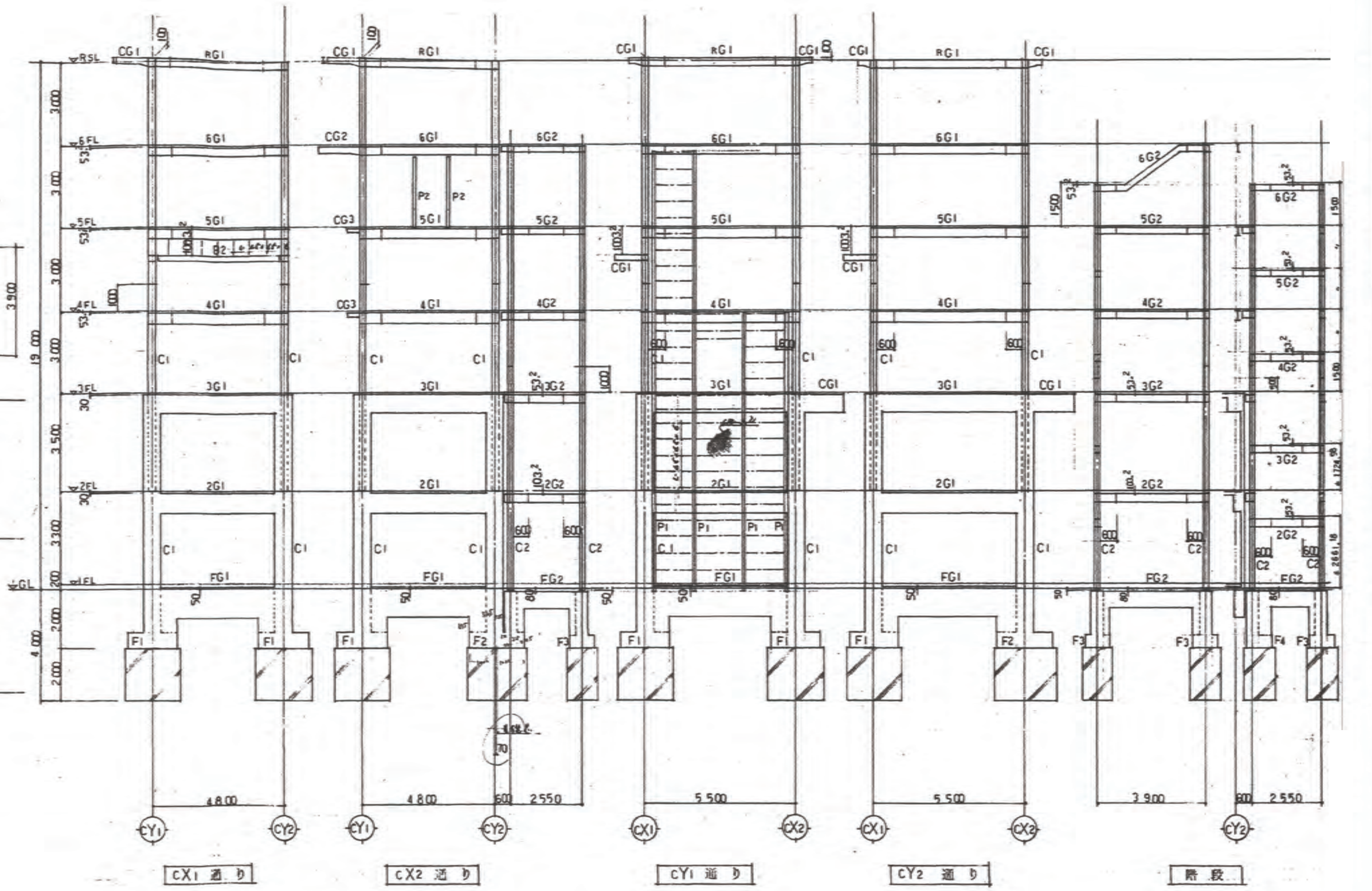
2 階床梁伏図

5 階床梁伏図

基礎伏図

伏図 1:100

	共通事項 特記なき限り下記による
1	▬ はコンクリート壁とし、外壁W18、内壁W15とする
2	▭ はアリ壁又は帳壁とする
3	═ はコンクリートブロック壁とする
4	⬭ 内数字はGLより土間コン天端までの寸法とする
5	各階 梁レベルは軸組図参照
6	— 床ブレース M16（両側） ═ 床ブレース L-65×65×6 とする


RSL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
GL
3,000
3,500
3,300
2,000
4,000
19,000
RG1
CG1
CG2
CG3
6G1
6G2
5G1
5G2
4G1
4G2
3G1
3G2
3G2
2G1
2G2
FG1
FG2
C1
C2
P1
P2
F1
F2
F3
F4
4,800
5,500
3,900
600
2,550
CY1
CY2
CX1
CX2

CX1 通り

CX2 通り

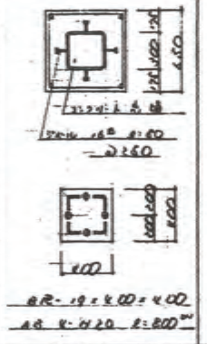
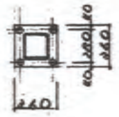
CY1 通り

CY2 通り

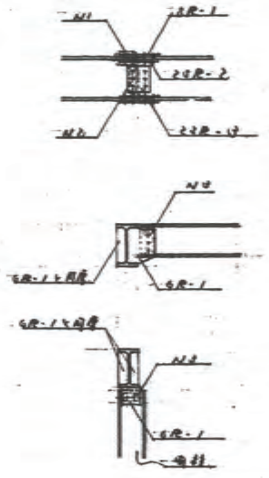
階段

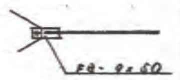
軸組図 1:100

備考	伝刀建築構造事務所 一級建築士登録（大臣）第173277号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 A3 出力時：S=1:200	工事名称 令和8年度 大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称（既設図面参考図） 基礎伏図・鉄骨梁伏図・軸組図	図面番号 No. S－2

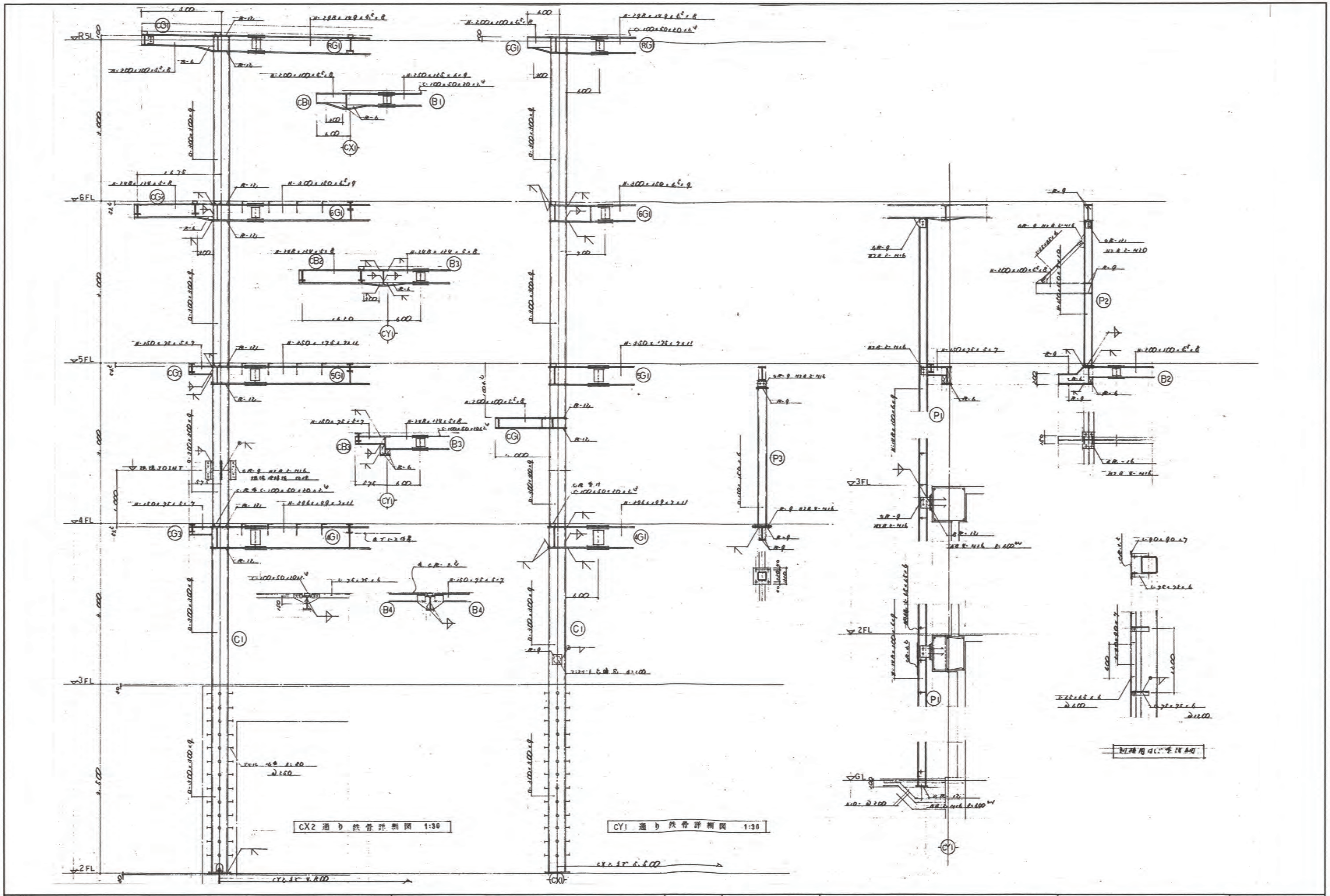
	C1	C2	
6階	□		
主材	□-300×300×9		
5階	□	□	
主材	□-300×300×9	□-200×200×9	
4階	□	□	
主材	□-300×300×9	□-200×200×9	
3階	□	□	
主材	□-300×300×9	□-200×200×9	
2階	 BR-19×400×400 AB 4-M20 ℓ=800	□	
主材	□-300×300×9	□-200×200×9	
1階		 BR-16×260×260 AB 4-M16 ℓ=500	
主材		□-200×200×9	

	RG1	6G1	5G1	4G1		
断面						
主材	H-298×149×5.5×8	H-300×150×6.5×9	H-350×175×7×11	H-396×199×7×11		
SR-1	R-9	R-9	R-9	R-9		
2SR-2	R-9	R-9	R-9	R-9		
2SR-3	R-6	R-6	R-6	R-9		
N1	HTB 4-M20	HTB 4-M20	HTB 6-M20	HTB 6-M20		
N2	HTB 3-M20	HTB 3-M20	HTB 4-M20	HTB 4-M20		
		6G2	5G2	4G2	3G2	2G2
断面			6G2 =全ツ		4G2 =全ツ	
主材		H-200×100×5.5×8		H-248×124×5×8		H-300×150×6.5×9
SR-1		R-12		R-9		R-9
2SR-2				R-9		R-9
2SR-3		R-6		R-6		R-6
N1		HTB 4-M16		HTB 4-M16		HTB 4-M20
N2		HTB 2-M16		HTB 2-M16		HTB 3-M20

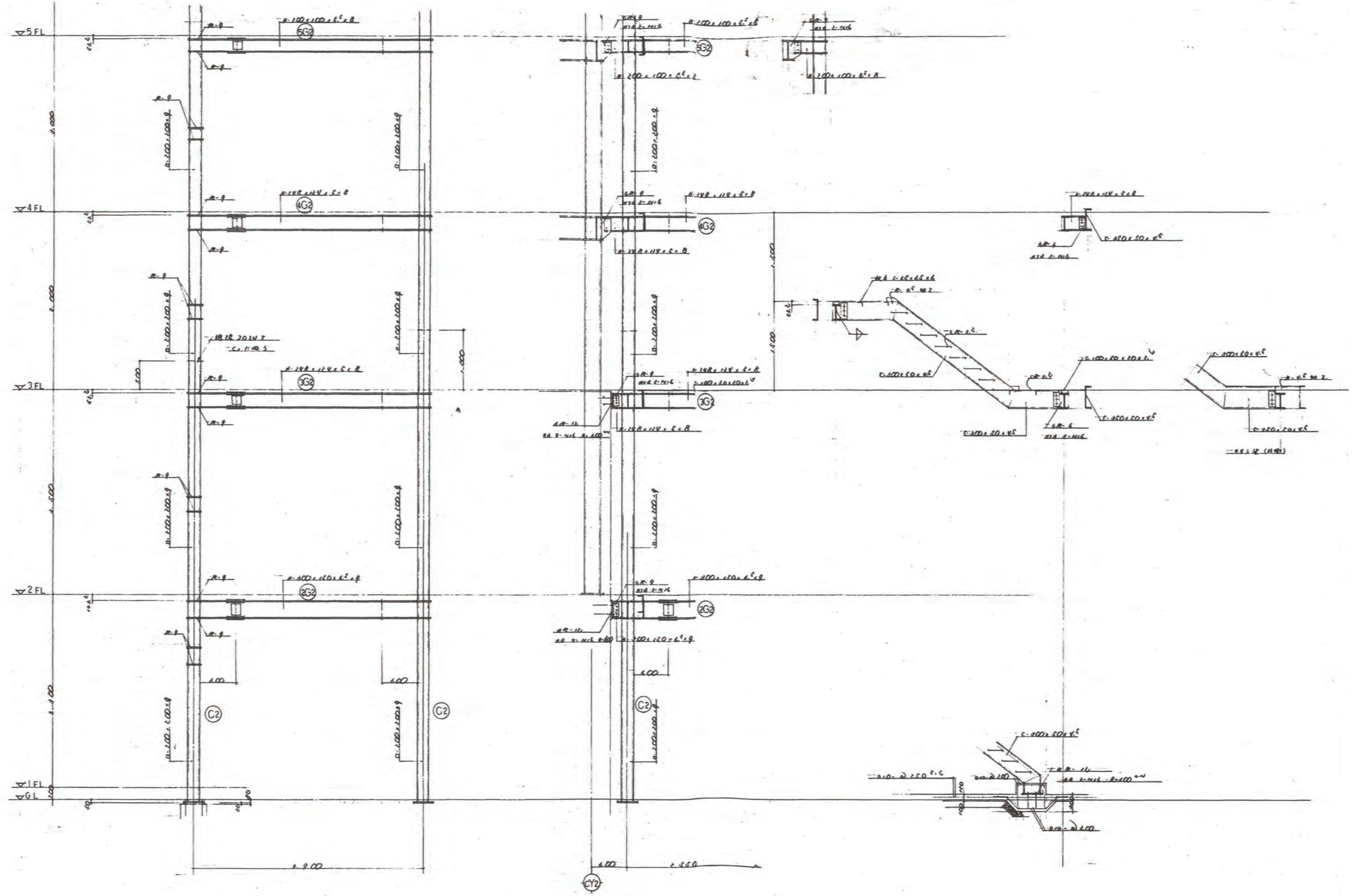


	B1	B2	B3	B4		P1	P2	P3
断面	JOINT は 6G2と同じ		JOINT は 6G2と同じ					□
主材	H-250×125×6×9	H-200×100×5.5×8	H-248×124×5×8	H-150×75×5×7		H-148×100×6×9	H-150×150×7×10	□-150×150×6
GR-1	R-9	R-9	R-9	R-6				
N3	HTB 3-M16	HTB 2-M16	HTB 3-M16	HTB 2-M16 (-3ヶ)				
	CG1・CB1	CG2・CB2	CG3・CB3			縦材	床ブレース	床ブレース
断面							 FB-9×60	
主材	H-200×100×5.5×8	H-248×124×5×8	H-150×75×5×7		L-65×65×6	L-75×75×6	M16 (ﾀｰﾝ付)	L-65×65×6
GR-1					R-6	R-6	R-9	R-6
N3					HTB 1-M16	HTB 2-M16	HTB 1-M16	HTB 2-M16

備考	伝刀建築構造事務所 一級建築士登録（大臣）第173277号 伝刀春司	年月日 R.8.10	縮尺 A3 出力時: S=1:60	工事名称 令和8年度　大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称 （既設図面参考図） 鉄骨部材リスト	図面番号 No. S-3


RSL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
GL
CG1
RG1
CB1
B1
CX1
CG2
6G1
CB2
B3
CY1
CG3
5G1
CB3
4G1
B4
C1
P1
P2
P3
B2
CX2 通り 鉄骨詳細図 1:30
CY1 通り 鉄骨詳細図 1:30
訓練用はしご受詳細

備考	伝 刀 建 築 構 造 事 務 所 一級建築士登録（大臣）第173277号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 A3 出力時：S=1:60	工事名称 令和8年度 大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称（既設図面参考図） 鉄骨詳細図	図面番号 No. S - 4


▽5FL
▽4FL
▽3FL
▽2FL
▽1FL
▽GL
5G2
4G2
3G2
2G2
C2
C2
C2
CY2
600
600
600
600
2,550
1,500
1,500
1,000

階段 鉄骨詳細図 1:30

備考	伝刀建築構造事務所 一級建築士登録（大臣）第173277号 伝刀修司	年月日 R.8.10	縮尺 A3 出力時: S=1:60	工事名称 令和８年度 大町消防署訓練塔塗装等修繕工事	図面名称 （既設図面参考図） 鉄骨階段詳細図

図面番号

No. S-5